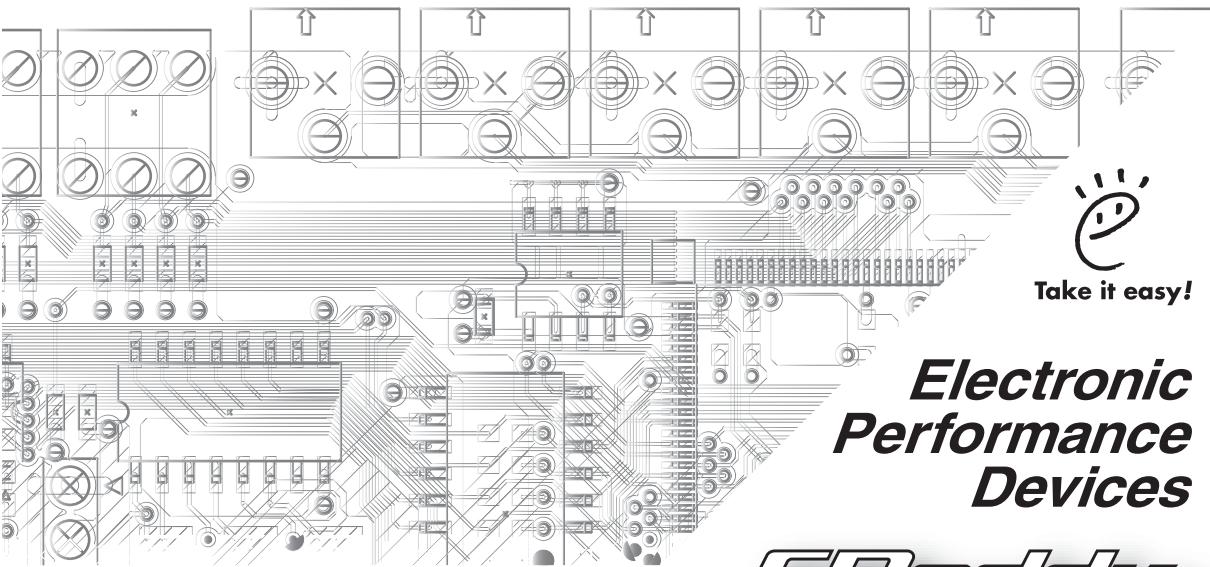


TRUST SUPER TUNING SYSTEMS AIMED AT REAL COMPETITORS



Take it easy!

***Electronic
Performance
Devices***

GReddY

e-manage
ENGINE CONTROL UNIT MANAGER

instruction manual
取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解された上で正しくお使いください。

TRUST

Microsoft,Windows,及びロゴは、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentium,MMX,及びロゴは米国Intel 社の米国及びその他の国における登録商標です。

Backup は、米国Hewlett - Packard - Company グループの米国Coolorado Memory Systems,Inc.によって開発されました。

MS 明朝体及びMS ゴシック体は、リヨービイマジスク株式会社の書体を基にデザインされています。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

その他、記載されている会社名及びロゴ、製品名等は、各社の商標及び登録商標です。

開封される前に一重要

本使用許諾契約書（以下「本契約書」）は「e-manage」（以下「本製品」）に関して、お客様と（株）トラストとの間に締結される契約書です。

本製品は、コンピュータソフトウェア及びユーザーズマニュアルなどの印刷物ならびにそれらに使用される文書、図表、映像など（総称して以下「本ソフトウェア」）を含みます。つきましては、本製品の包装を開封された時点で、お客様は、本契約書に記載された諸事項を承諾したことになります。開封される前に本契約書をよくお読みになり、もし契約の諸条件に同意されない場合は、本製品の包装を開封せずに本製品のすべてと一緒にして、直ちに（株）トラスト又は、お客様が取得された販売店へご返送下さい。お支払い頂いた金額を全額払い戻し致します。

使用許諾契約書

1. 使用許諾

お客様は本製品を特定の1台コンピュータにおいて（インストールされた状態を含む）使用することが出来ます。

2. 知的財産権

本ソフトウェアについての著作権をはじめ全ての知的財産権は、（株）トラスト又は、その供給者のものです。よって、お客様は本ソフトウェアを無断で複製、改良したり、本製品の目的以外の目的に使用することは出来ません。ただし、以下のいずれかを行う事ができます。

- A バックアップのみを目的として本製品のコピーを一部に限り作成すること。
- B バックアップのみを目的として本製品を1台のコンピュータに限りインストールすること。

3. その他の制限及び権利

- ・お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブルなどする事は出来ません。
- ・お客様は、本製品を第三者に貸与又はリースすることは出来ません。
- ・お客様は、本契約に基づくお客様の本製品に関わる全ての権利を、第三者に譲渡することができます。ただしその場合、本製品の複製物を保有することはできず、本製品の一切（媒体、マニュアルなど）当該第三者に譲渡し、かつ当該第三者が、本契約書の条項に同意することが条件になります。なお、本製品が、アップグレードされたものである場合は、当該である場合、譲渡は、ソフトウェア製品の以前のバージョンもすべて含んだものでなければなりません。

4. 契約の解除

お客様が、本契約書の規定に違反した場合、（株）トラストはこの使用許諾契約を解除するものとします。この場合、お客様は本製品の使用を直ちに中止し、本製品全て及びそのコピーを弊社に返還するか、弊社の指示に従い処分しなければなりません。

お使いになる前に

お客様が入手されたこのトラスト製品に関しては、以下の保証のみが適用されます。以下に特別の記載のない限り、トラストとは株式会社トラストを指すものとします。この製品の保証に関する事項は株式会社トラストを通じてのみ対処されるものとします。なお、この保証規定は、日本国内のみにて有効なものとします。

品質保証

- (1) トラストは、本ソフトウェアが付属製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合又は本ソフトウェアの媒体又は、マニュアルに物理的な欠陥がある場合に、お買い上げ後90日間に限り、又、本ソフトウェアに付随して、弊社より提供されるe-manage本体については、物理的、又は、製造上の欠陥がある場合に、お買い上げ後1年間に限り弊社の判断に基づき、交換、修理等により対応するものとします。
- (2) 上記（1）項のいずれの対応も基本的にお客様が製品の保証書（又は購入を証明するもの）と共に製品を弊社に返却された場合のみに提供されます。
- (3) 上記（1）項の事態が火災、地震、第三者による行為その他の事故、お客様の故意、若しくは過失、誤用、その他異常な条件下での使用において生じる等、弊社の責任に帰さない理由により生じた場合、弊社は保証の責任を負うことが出来ません。
なお、以下に定める場合も保証の対象とはなりません。

- ・ 改造、不当な修理、その他の取り扱いが適切でなかったことによる故障。
 - ・ e-manage本体に関わる部品の紛失。
 - ・ e-manage本体が接続されている車両、又は他社製品の故障、不具合に起因する故障。
- (4) 弊社は本製品に含まれる機能が、お客様の特定の目的に対する適合性を含む本保証規定に規定されていないその他の保証を一切する事が出来ません。
- (5) 法律上の請求の原因の種類を問わず、いかなる場合においても、弊社は、この製品の使用又は使用事態から生ずる本保証規定に規定されていないいかなる他の損害（事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失又は、その他の金銭的損害を含むこれらに限定されない）に関して、一切責任を負うことが出来ません。

はじめに

この度は、GReddy e-manageをお買上げくださいまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、e-manageを初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書は、よくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

又、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

◆お客様と製品のかかわり合い◆ 必ずお読み下さい

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保できなくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂かなくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

もくじ

はじめに · · · · ·	P1
お客様と製品のかかわり合い 必ずお読み下さい · · · ·	P1
もくじ · · · · ·	P2~3
1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい · · ·	P4~7
2. 部品構成 · · · · ·	P8~9
3. 本製品の特徴 · · · · ·	P10~11
4. 各部の名称 · · · · ·	P12~13
5. 初期設定 必ず行って下さい · · · · ·	P14~17
6. 取り付け方法 · · · · ·	P18~25
7. 最終確認 · · · · ·	P26~27
8. 本体のみでの使用方法について · · · · ·	P28~31
9. インストールの前に 必ずお読み下さい · · · · ·	P32
10. ソフトウェアのインストール · · · · ·	P33
11. USBドライバのインストール · · · · ·	P34~40
12. 初めに行う操作 · · · · ·	P41~43
13. 本体設定情報の確認 · · · · ·	P44
14. パラメータ設定 · · · · ·	P45~49

もくじ

15. 設定、入力方法について ······	P50~51
16. 設定、MAP画面について ······	P52~60
17. メニューバーについて ······	P61~63
18. ツールバーについて ······	P64
19. MAPトレース機能 ······	P65~66
20. リアルタイム表示機能 ······	P67~68
21. データ解析について ······	P69~70
22. プロテクト設定 ······	P71
23. 自己診断機能、エラーコード一覧 ······	P72~74
24. 車種別ECU位置図 ······	P75
25. 車種別信号位置図 ······	P76~93
26. トラブルシューティング ······	P94~95
27. オプションパーツについて ······	P96
28. アフターサービスについて ······	P96

1. 安全・取り扱いに関するご注意

必ずお読み下さい

製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くことになります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

⚠ 警告

もし、お守り頂かないと生命の危機、又は、重傷を負う人身事故につながる恐れのある注意事項です。

⚠ 注意

もし、お守り頂かないと、製品だけでなく自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある注意事項です。

お願 い

製品を正しくお使い頂くために、必ず守って頂きたい注意事項です。

重 要

製品を正しくお使い頂くために、知っておいて頂きたい注意事項です。

⚠ 警 告

- ⚠ 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ず、エンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジン周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。
- ⚠ 必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、火災の危険があります。
- ⚠ 必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒になる危険があります。エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。
- ⚠ 車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。
- ⚠ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、けがや火傷、車両火災を引き起こす可能性があり危険です。
- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損、車両火災の原因や運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。
ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 作業終了後は、必ず運転席の足元に何もないことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる恐れがあり、大変危険です。
- ⚠ 運転中は絶対に本製品の操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。



車両を発進させる時は、必ず周りに何もない事を確認して下さい。不用意に発進させると、思わぬ人身や破損の事故等を引き起こす恐れがあります。



本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も、必ず渡して下さい。



注意



セッティング不良は、エンジンの破損等を引き起こす可能性があります。セッティング不良によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。ご使用されるエンジンの仕様にあった空燃比に設定する為に、空燃比計等を使用して、数値を確認しながら燃料調整を行って下さい。



くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。これらの取り付けミスによる損害に関して、当社は一切の責任を負うことは出来ません



本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。



配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。



ハンダ付け、スプライスにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き、絶縁して下さい。



本製品を加工、改造しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。



本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出しが等、高温になる所、又その近くには取り付けないで下さい。



本製品は点火信号や無線等のノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。又、本製品を強力な電波の発生する場所では使用しないで下さい。電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。

お願い

- バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直して下さい。
- 本製品をお買上げ後、8～9ページのパーツがあることを確認して下さい。新品をお買上げの時点で、不足部品等がある場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- 本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
- 本製品は改良の為、予告なく仕様変更をする場合がありますのでご了承下さい。
- 本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
For Sale and Use in Japan Only.
- 本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。（住所・電話番号は下記記載。最終ページにも記載。）

重要

- 本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。
- 本製品は12Vバッテリー搭載車に使用出来ます。

作業者の方へのお願い

- 取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので、必ずお読み下さい。

株式会社トラスト 本社

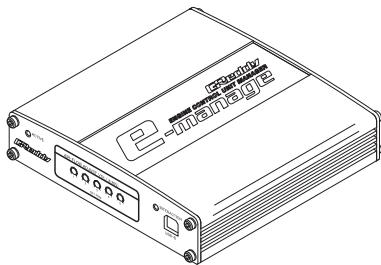
〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台 3115番地5

T E L.0479 (77) 3000

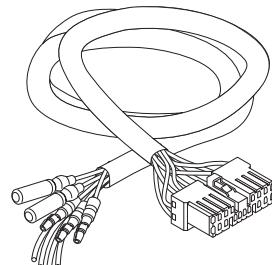
2. 部品構成

お願い

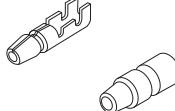
本製品をお買い上げ後、以下の物がある事をご確認下さい。
又、確認ができましたら、保証書に本体付属の製品番号を記入して下さい。
保証書を有効にする為、必ず記入を行って下さい。



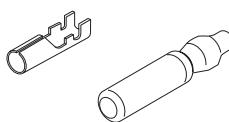
本体 1ヶ



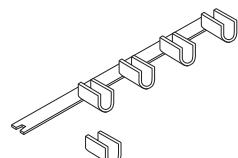
取り付けハーネス 1本



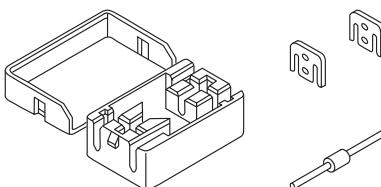
オスギボシ端子 2ヶ
オスギボシリーブ 2ヶ



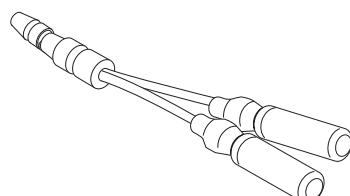
メスギボシ端子 3ヶ
メスギボシリーブ 3ヶ



スプライス 5ヶ

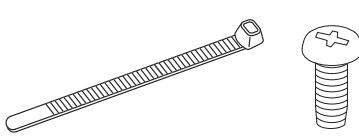


エアフロアダプタ 1個
抵抗1kΩ 1本
接触子 2枚

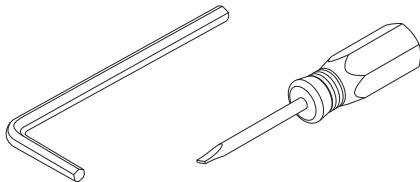


分岐ハーネス 1本

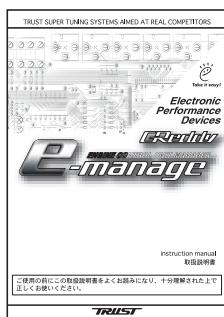
2. 部品構成



タイラップ 150mm 3本
M4ネジ 4本



六角レンチ 1ヶ
調整ドライバー 1本



取扱説明書（本書） 1部



保証書 1部

最低限必要な物と工具	確実に取り付ける際に必要な工具
<ul style="list-style-type: none"> ・ テスター（15V以上計れるもの） ・ ニッパー ・ +、- ドライバー ・ 電工ペンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンダゴテ ・ キリ又はドリル ・ 布、中性洗剤、水 ・ ビニールテープ 又は熱収縮チューブ

上記部品・個数に相違がある場合は、必ず装着前にお買い上げ店、又は弊社までご連絡下さい。（住所・電話番号は最終ページに記載。）

3. 本製品の特徴

●パソコンと通信し設定を行わなくても、本体のみで使用する事が可能です。

- ◎本製品は12Vバッテリー搭載の国産車に使用出来ます。
- ◎本製品は、本体のみでエアフロセンサー、圧力センサー信号を5ポイントの回転数において補正することが可能です。
- ◎同じく、本体のみで可変バルブタイミング・リフト機構（以下、VTECと称す）搭載車両において、VTEC切り替え回転数を調整する事が可能です。
また、切り替え回転数変更に伴う燃調のズレも補正出来ます。
- ◎自己診断機能搭載により設定ミス等による車両破損を防ぎます。

●e-manage softwareを使用する事で、e-manageとWindowsパソコンを通信させ、e-manageの拡張機能を設定する事が可能です。

～主な拡張機能～

- ◎エアフロ補正MAP
本体のボリューム値とは別に、回転数16ポイントとスロットル開度16ポイントのMAPを使用し、細かいエアフロ補正が可能になります。
- ◎インジェクター交換、エアフロ交換に対応可能
- ◎ブーストリミッターカット機能
ブーストリミッターを解除できます。（ニッサン、スバル車の一部除く）
- ◎エンジンストール防止機能
エアフロの吹き返しなどによるエンジンストールを防止できます。
- ◎外部出力設定
画面上で「VTEC」、「NVCS」のコントロールができます。
※NVCSのコントロールはNVCSアダプタ（別売）が必要です。
- ◎MAPトレース機能
リアルタイム通信中、現在MAPのどの位置を読んでいるか確認することができます。
- ◎リアルタイム表示
e-manageに入出力するデータを画面上の数字、又はグラフで確認することができます。
- ◎データロガー機能
リアルタイム表示中のデータを記録し後で確認することができます。
- ◎プロテクト設定
データにパスワードを設定し、データ変更の危険を回避できます。

※ 「VTEC」は、本田技研工業株式会社の登録商標です。

※ 「NVCS」は、日産自動車株式会社の登録商標です。

3. 本製品の特徴

●e-manage softwareを使用し、さらにオプションパーツを使用する事で、I/Jや点火等の補正も可能です。

～オプションパーツ～

◎ハーネスキット (I/J)

インジェクターの增量補正、加速インジェクター增量補正が可能になります。
追加インジェクターが2本までコントロール可能になります。

◎ハーネスキット (点火)

点火時期の補正が可能になります。

◎GReddy圧力センサー

MAPの負荷軸に圧力値を使用できます。

◎圧力系センサーハーネス (2.5m)

GReddy圧力センサーを取り付ける際に必要になります。

◎A/F計入力ハーネス

外部出力 (0~5V) のあるA/F計から、
A/F値をデータロガーで表示する事が可能になります。

◎NVCSアダプタ

NVCSをコントロールするためのアダプタです。

◎MSS認識アダプタ

Multi Switching System、またはDual Switching Controller (NOS等) の駆動信号を認識させ、点火時期の補正ができるアダプタです。

◎O₂センサーアダプタ1

車両のO₂センサーのフィードバックによりセッティングが難しい場合、
設定回転数以上でフィードバックを強制的に機能させないようにするアダプタです。
エアフロ (電圧) 2入力/VTEC出力 (黄色線) 信号線を使用します。

◎回転信号取り出しアダプタ1～3

配線上に回転信号がない車両で、点火信号から回転信号を取り出すアダプタです。
車両の仕様により、1～3のうち対応するアダプタが違います。

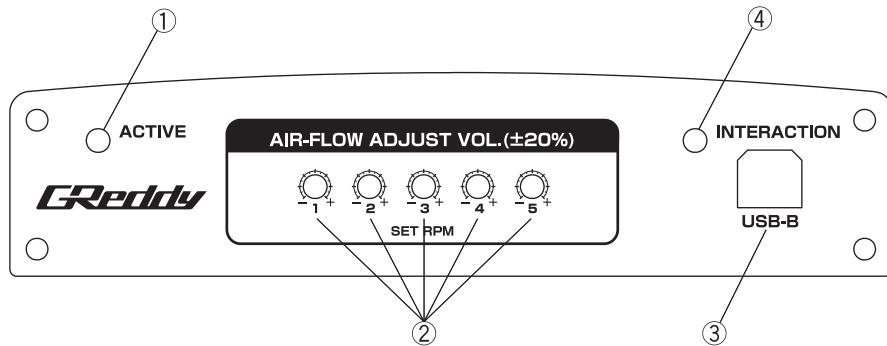
◎点火信号アダプタ1、2

ハーネスキット (点火) を配線した際に、車両のチェックランプ点灯や、
チェック機能が働いてしまう車両に対し、それらを防止するアダプタです。
車両により、1、2のうち対応するアダプタが違います。

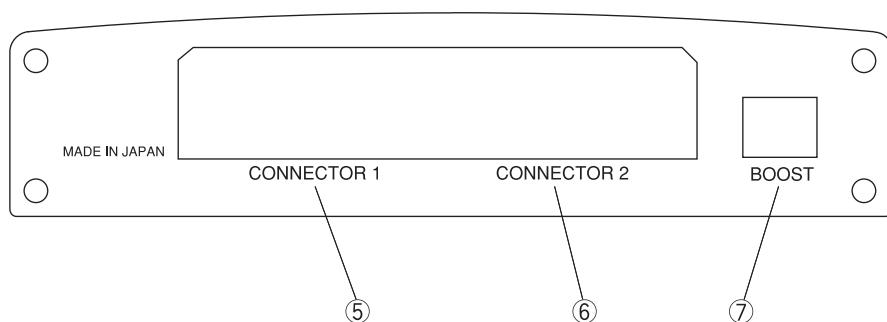
※GReddy圧力センサー、A/F計入力ハーネス、MSS認識アダプタは、同時に使用する事はできません。

※各オプションパーツ詳細につきましては、弊社ホームページ (www.trust-power.com) 、
またはカタログをご参照下さい。

4. 各部の名称



フロントパネル



リアパネル

4. 各部の名称

①ACTIVE L.E.D.

- ・本体に電源が入っている時、通常グリーンに点灯、点滅します。
- ・**AIR-FROW ADJUST VOL.** の各設定回転数になった時、オレンジに点灯、点滅します。
(2000,3000,4000,5000,6000rpmにて点灯、点滅します。)
- ・補正を行っている時、点滅表示します。
- ・**AIR-FROW ADJUST VOL.** で補正された補正值を点滅表示します。
- ・自己診断機能が作動したした際、レッド高速点滅します。
- ・アップデートに失敗した場合、レッド、グリーン、オレンジの交互点滅をします。（ダウンロードモード）※42ページ参照

②AIR-FROW ADJUST VOL. (A.A.V.) ※28ページ以降参照

- ・5ポイントの回転数における補正值を調整する時使用します。

③INTERACTION

- ・e-manage software と接続する為のUSBポートです。

④INTERACTION L.E.D.

- ・IG電源ON（エンジン未始動）時は点灯、パソコン等と通信中及びエンジン始動後、回転信号が認識されると点滅します。

⑤CONNECTOR 1 (18ピン)

- ・付属の取り付けハーネスを接続する為の接続部です。

⑥CONNECTOR 2 (12ピン)

- ・オプションパーツのハーネスキット点火を接続します。

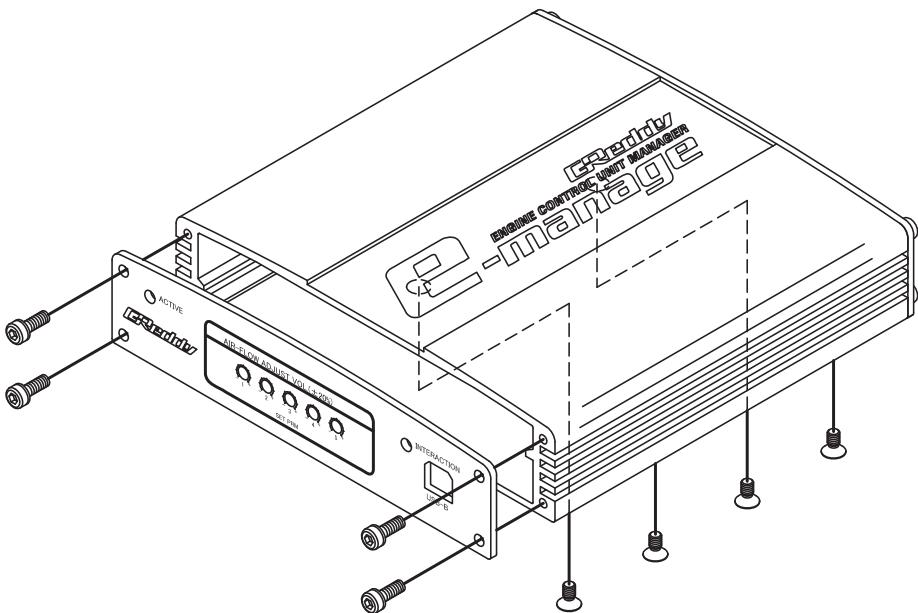
⑦プレッシャーセンサ接続コネクタ

- ・オプションパーツを接続するコネクタです。

※オプションパーツを使用する場合、e-manage software で設定が必要です。

◎ロータリースイッチの設定

- ・初めに付属の六角レンチ、及びプラスドライバーを使用し、下図のように本体ケースから基盤を取り出します。
- ・76~93ページの車種別信号位置図の表を参照し、ACTIVE L.E.D右側3個のロータリースイッチにて設定を行って下さい。
※スイッチ番号は左側から1,2,3となり、車種別信号位置図の「スイッチの設定」の番号となります。

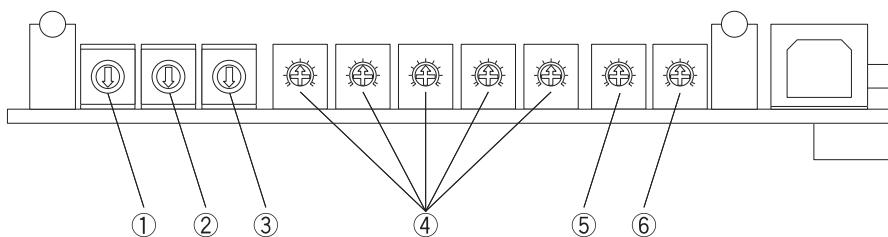


注意

エンジン始動の前にロータリースイッチの設定を必ず行って下さい。

5. 初期設定

必ず行って下さい



- ① ロータリースイッチ1（点火チャンネル設定）
- ② ロータリースイッチ2（エアフロタイプ設定）
- ③ ロータリースイッチ3（エアフロタイプ設定）
ロータリースイッチは76~93ページの車種別信号位置図の番号に従い設定して下さい。※出荷時設定は0.0.0
- ④ AIR-FROW ADJUST VOL. (A.A.V.) ※28ページ以降参照
- ⑤ VTEC POINT VOL. (V.P.V.) ※31ページ参照
VTEC切り換えポイントの変更をする時に使用します。
- ⑥ VTEC AIR-FROW ADJUST VOL. (V.A.A.V.) ※31ページ参照
VTEC切り換えポイントの変更をした際の燃調を補正する時に使用します。



注 意

ボリューム操作は付属の調整ドライバーを使用し、無理な力を加えず丁寧に設定を行って下さい。

◎ジャンパー設定

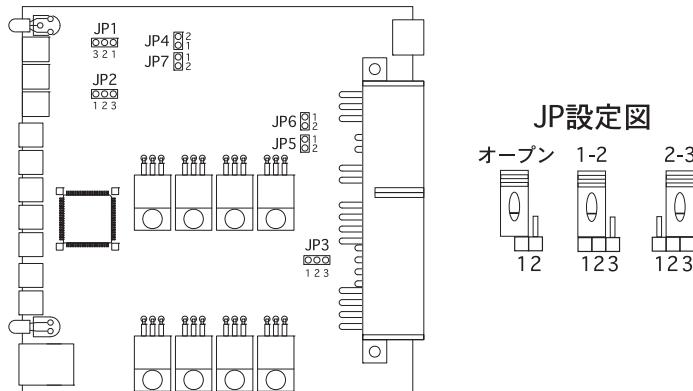
取り付けを行う前に、車両の設定を本体基盤のジャンパーで設定を行います。

下記のジャンパー位置図、ジャンパー表、及び次ページを参照し、ジャンパーピンの設定を行います。

設定が終わったら、取り外した逆の手順で基盤を本体ケースに戻してください。

※JP設定で、関係しない項目に関しては、出荷時のままで構いません。

★ジャンパー位置図



※オープンの際は、ジャンパーピンを接続しない状態の為、紛失しないようには必ず端子の片側に仮付けして下さい。

★ジャンパー表

ジャンパーNo.	信号名	オープン	1-2	2-3	出荷時設定
JP1	点火信号 入力	—	通常タイプ (ブルダウン)	ホンダデスビ (ブルアップ)	1-2
JP2	点火信号 出力	—	5V	12V	1-2
JP3	エアフロ信号 入力2/VTEC 出力	—	GT-R	VTEC OUT	1-2
JP4	カルマン 入力/VTEC入力	カルマン 入力	VTEC IN	—	オープン
JP5	インジェクター信号 CH-A	I/J CH-7	追加I/J	—	オープン
JP6	インジェクター信号 CH-B	I/J CH-8	追加I/J	—	オープン
JP7	カルマン 出力/VTM 出力	VTM 出力	カルマン出力	—	1-2

★ジャンパー説明

JP1

- ・通常は「1-2」にします。
- ・ホンダデスビ車等、プルアップタイプの車両は「2-3」にします。

JP2

- ・通常は「1-2」にします。
- ・ホンダデスビ車は「2-3」にします。
- ・トヨタ車等で点火信号線を接続し、タコメーターが動かない、点火しない等の症状が発生した場合、「2-3」にします。

JP3

- ・エアフロが2つある車両（GT-R等）の場合、「1-2」にします。
- ・VTEC搭載車両で、VTECの切り換えポイントを変更する場合、「2-3」にします。
- ・外部出力（O2センサーダプタ1等）を使用する場合、「2-3」にします。

JP4

- ・VTEC入力信号を接続する場合、「1-2」にします。
- ・エアフロがカルマン渦タイプの場合、「オープン」にします。

JP5

- ・8気筒の車両で、インジェクター信号CH-Aをメインインジェクターの增量で使用する場合、「オープン」にします。

JP6

- ・8気筒の車両で、インジェクター信号CH-Bをメインインジェクターの增量で使用する場合、「オープン」にします。

JP7

- ・VTEC信号線の他にVTM信号があるVTEC車両は、「オープン」にします。
- ・エアフロがカルマン渦タイプの場合、「1-2」にします。



注意

ジャンパーの設定は絶対に間違えないで下さい。本製品だけでなく、車両の電装系まで破損する可能性があります。

6. 取り付け方法

「取り付け方法」をよくお読みの上、取り付け作業を始めて下さい。

⚠ 警告

- ⚠ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、事故、けが、火傷、誤配線によるショート等の可能性があり危険です。
- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。

⚠ 注意

- ⚠ 配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。
- ⚠ 絶対にショートさせないで下さい。本製品だけでなく車両の電装系まで破損させる恐れがあります。
- ⚠ 必ず、配線方法をよくお読みになり理解された上で、配線して下さい。誤配線は、本製品だけでなくエンジン破損の原因となる可能性があります。
- ⚠ カプラーを接続する際は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで下さい。接続不良は誤作動の原因となります。

お願い

- ハンダ付け、スプライスにて配線した場所は、必ずビニールテープ等を巻き確実に絶縁して下さい。

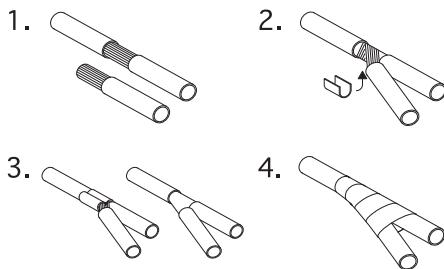
6. 取り付け方法

・配線方法

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. 75ページ以降を参照して車両のECUを探し、カプラーを取り外します。
3. 20ページ、及び75ページ以降を参照し、車両ハーネスより電源、アース、回転信号、（必要であればスロットル信号も）をスプライス、またはハンダ付け（下記参照）を使用し接続します。
4. 20～22ページを参照して、車両ハーネスのエアフロ信号線又は、圧力センサー信号線をカットし、ECU側をオスギボシにしてギボシ加工（下記参照）を行います。
※RB26DETT搭載車両はエアフロ信号が2つある為、2本ともギボシ加工を行って下さい。
5. ギボシ加工したエアフロ信号線を接続します。
 - ・ホットワイヤー、フラップ、圧力センサーの場合21ページ
 - ・マツダホットワイヤー車両の場合21ページ
 - ・カルマン渦タイプの場合21ページ
 - ・RB26DETT搭載車両の場合22ページ
6. 別売のハーネスキット(I/J)、ハーネスキット(点火)を取り付ける場合は23～25ページを参照して配線して下さい。
7. スプライスを使用した部分、又はハンダ付けを行った部分は、必ずビニールテープ、熱収縮チューブ等で絶縁します。
8. バッテリーのマイナス端子を接続します。

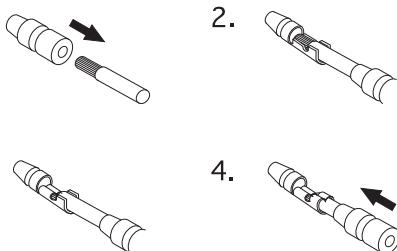
◎スプライスの使い方（ハンダ付けの方法）

1. 配線の被覆を剥く。熱収縮チューブ 1. を使用する場合は先に通しておく。
2. 剥いた配線を巻き付け、スプライスをセットする。
ハンダ付けの場合不要。
3. 電工ペンチで確実にかしめる。
4. ビニールテープ、熱収縮チューブ等で絶縁します。



◎ギボシの使い方

1. 配線の被覆を剥き、スリーブを通す。 1.
2. 配線をギボシにセットする。
3. 電工ペンチを使用し、内側の圧着部を芯線とかしめる。
4. 外側の圧着部を被覆の上からかしめ、 3. スリーブをかぶせる。

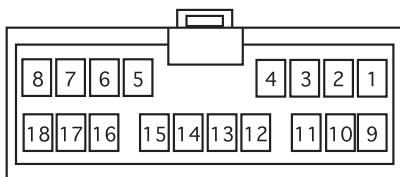


6. 取り付け方法

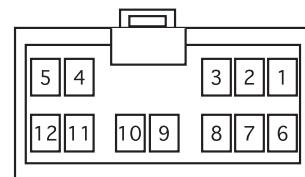
・端子配列図

e-manageに接続されるコネクタの各信号位置は下記の表のようになっております。

取り付けハーネス



ハーネスキット（点火）※別売



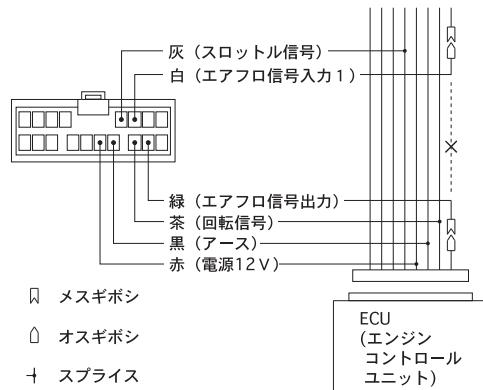
No.	信号名（線色）
1	エアフロ（周波数）入力/VTEC入力（水）
2	エアフロ（電圧）2入力/VTEC出力（黄）
3	エアフロ（電圧）1入力（白）
4	スロットル入力（灰）
5	※ インジェクター信号入力 CH1（青/赤）
6	※ インジェクター信号入力 CH2（橙/赤）
7	※ インジェクター信号入力 CH3（黄/赤）
8	※ インジェクター信号入力 CH4（紫/赤）
9	エアフロ（周波数）出力/VTM出力（紫）
10	エアフロ（電圧）出力（緑）
11	回転信号入力（茶）
12	アース（黒）
13	IG電源（赤）
14	※ インジェクター信号入力 CH7/A（白/赤）
15	※ インジェクター信号入力 CH8/B（緑/赤）
16	※ インジェクター信号入力 CH5/C（桃/赤）
17	※ インジェクター信号入力 CH6/C（水/赤）
18	※ インジェクターアース（黒/赤）

No.	信号名（線色）
1	点火信号入力 CH6（水/白）
2	点火信号入力 CH5（桃/白）
3	点火信号入力 CH4（紫/白）
4	点火信号入力 CH2（橙/白）
5	点火信号入力 CH1（青/白）
6	点火信号出力 CH6（水/黒）
7	点火信号出力 CH5（桃/黒）
8	点火信号出力 CH4（紫/黒）
9	点火信号出力 CH3（黄/黒）
10	点火信号入力 CH3（黄/白）
11	点火信号出力 CH2（橙/黒）
12	点火信号出力 CH1（青/黒）

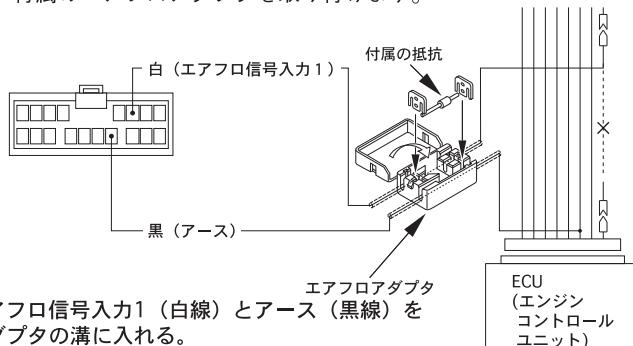
※別売のハーネスキット（I/J）に付属

6. 取り付け方法

◎ホットワイヤー、フラップ、圧力センサー使用車両

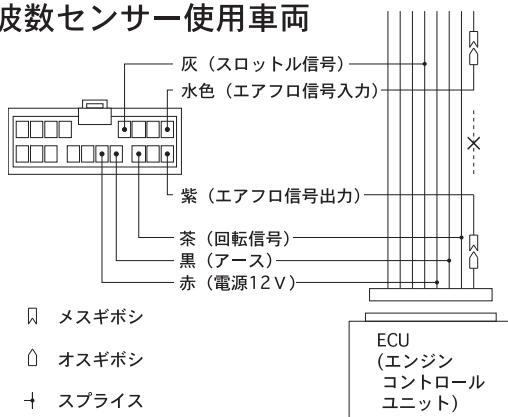


※一部のマツダホットワイヤー車両(NB※C、BJFW)は下図を参照し、付属のエアフロアダプタを取り付けます。



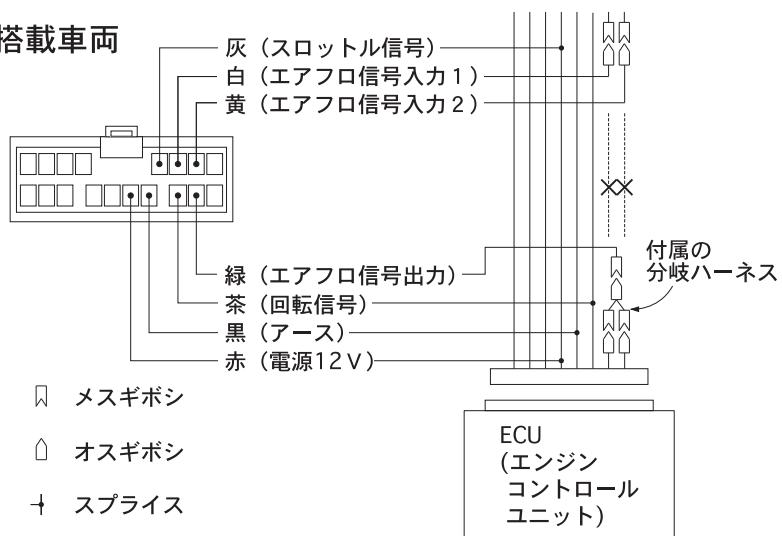
- 1.エアフロ信号入力1（白線）とアース（黒線）をアダプタの溝に入れる。
- 2.付属の抵抗を18~19mmの長さを残してカットし、接触子に差し込む。
- 3.接触子をブライヤー等で確実にかみ込ませる。

◎カルマン渦周波数センサー使用車両

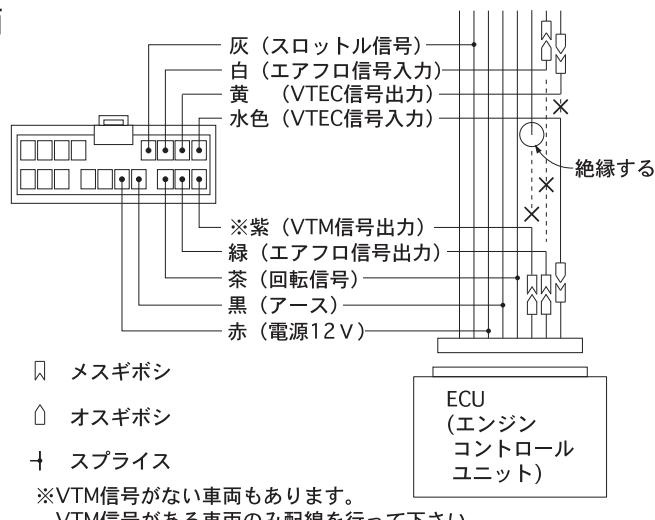


6. 取り付け方法

◎RB26DETT搭載車両



◎VTEC搭載車両



重 要

- e-manage softwareで拡張機能（エアフロ補正MAP、エンジンストール防止設定）等を使用しない場合、スロットル信号（灰線）は配線しなくても構いません。

6. 取り付け方法

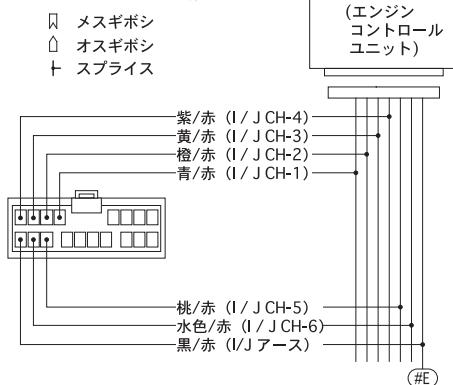
◎インジェクター信号への配線

- 別売のハーネスキット(I/J)を使用する場合、ハーネスキット(I/J)の取扱説明書もよく読んだ上で取付作業を行って下さい。

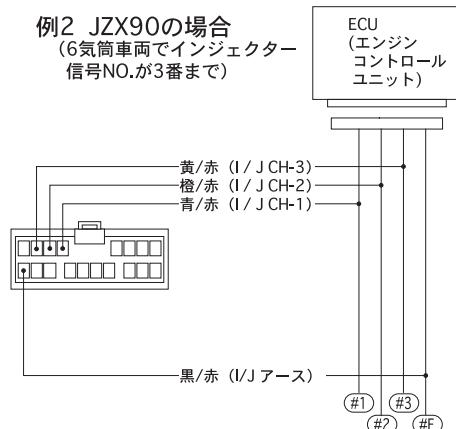
※75ページ以降の車種別信号位置図を参照して配線を行って下さい。

※ロータリーエンジンのチャンネルは自由に設定可能です。プライマリー、またはセカンダリーのみへの配線でもかまいません。

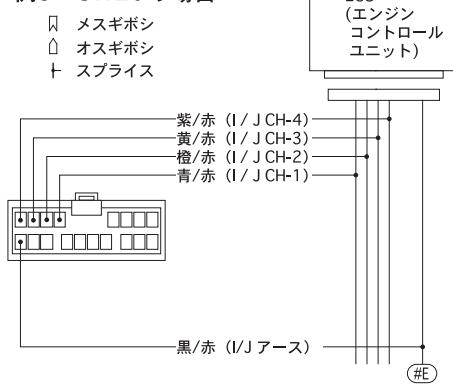
例1 BNR32の場合



例2 JZX90の場合
(6気筒車両でインジェクター
信号NO.が3番まで)

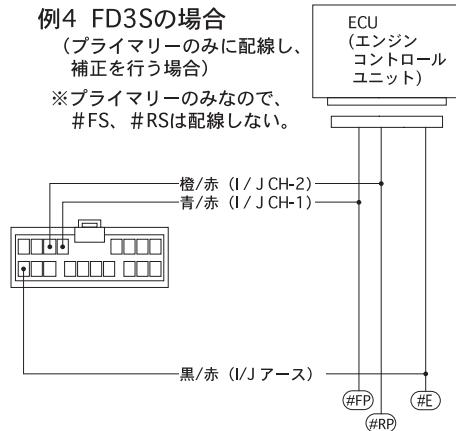


例3 SW20の場合



例4 FD3Sの場合

(プライマリーのみに配線し、
補正を行う場合)
※プライマリーのみなので、
#FS, #RSは配線しない。



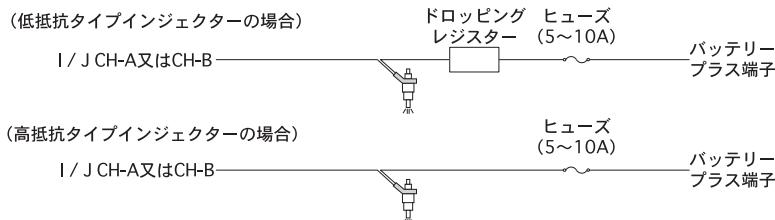
重 要

低抵抗I / Jでドロッピングレジスターがない車両（AE86, R31等）は、高抵抗I / Jに交換、もしくは、ドロッピングレジスターを取り付けて使用して下さい。

6. 取り付け方法

◎追加インジェクター信号への配線

- I / J CH-A ,I / J CH-B を追加インジェクターで使用する場合 (6気筒以下の車両)
e-manage本体の JP 5 及び、JP 6 をそれぞれ、オープン→1-2に設定して下さい。



重 要

低抵抗インジェクターを使用する際は、ドロッピングレジスターを必ず取り付けて使用して下さい。

◎点火信号への配線

- 別売のハーネスキット(点火)を使用する場合、ハーネスキット(点火)の取扱説明書もよく読んだ上で取付作業を行って下さい。
※75ページ以降の車種別信号位置図を参照して車両の点火信号に割り込ませる形で配線を行って下さい。
- ※必ずe-manageのチャンネル順序が、点火順序になるように配線を行って下さい。
(エンジンにより点火順序が決まっておりますので、必ず合わせて下さい)

(点火順序表)

e-manageチャンネル	CH-1	CH-2	CH-3	CH-4	CH-5	CH-6
ディストリビュータ	t					
3気筒 独立点火	t1	t3	t2			
3気筒 独立点火 (ダイハツ KFエンジン)	t1	t2	t3			
4気筒 (直列) 同時点火	t1,4	t2,3				
4気筒 (水平対向) 同時点火	t1,2	t3,4				
4気筒 (直列)	t1	t3	t4	t2		
4気筒 (水平対向)	t1	t3	t2	t4		

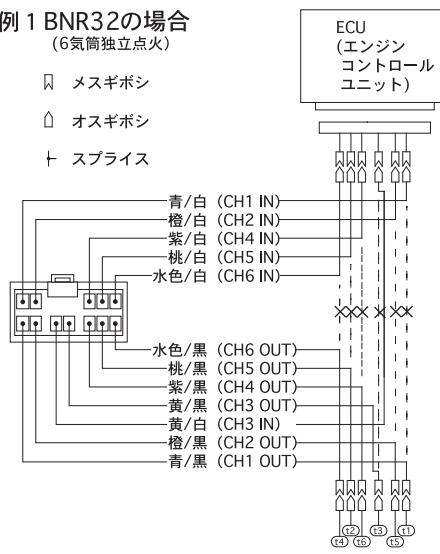
e-manageチャンネル	CH-1	CH-2	CH-3	CH-4	CH-5	CH-6
6気筒 (直列) 同時点火	t1,6	t5,2	t3,4			
6気筒 (V型) 同時点火	t1,4	t2,5	t3,6			
6気筒 (直列) 独立点火	t1	t5	t3	t6	t2	t4
6気筒 (V型) 独立点火	t1	t2	t3	t4	t5	t6
13B (FC3S,JC3SE)	tT	tL				
20B-REW (JCESE)	tT			tL		
13B-REW (FD3S)	tFT	tRT	tL			
13B-MSP (SE3P)	tFT	tRT	tFL	tRL		

重 要

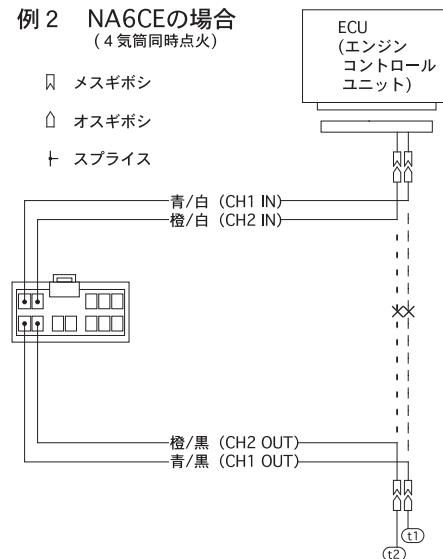
絶対に点火順序、ジャンパー設定は間違えないで下さい。イグニッションコイルが破損します。

6. 取り付け方法

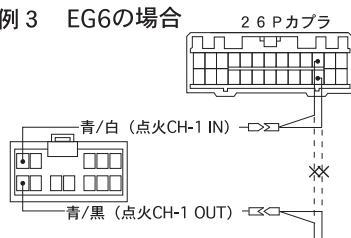
例1 BNR32の場合
(6気筒独立点火)



例2 NA6CEの場合
(4気筒同時点火)

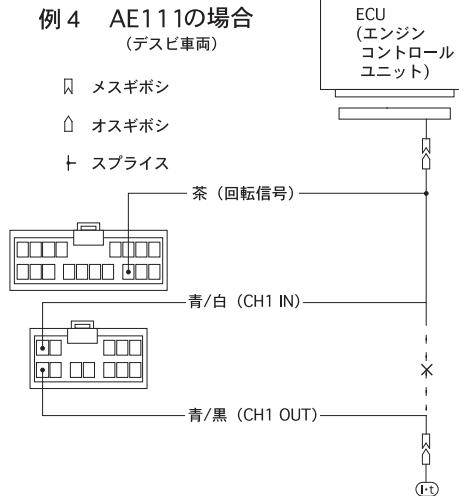


例3 EG6の場合



*ホンダEG系の車両は、車両側26Pカブラーの下段右から3番目から出ている配線も点火信号になりますので、2本まとめて配線して下さい。

例4 AE111の場合
(デビビ車両)



重 要

ホンダ車は、JP 1、JP 2 を2-3に設定して下さい。

配線を行い、タコメーターが動かない、点火していない等の症状が発生した場合、本体基盤上のJP 2 を2-3に設定を変更して下さい。(主にトヨタ車)

7. 最終確認

⚠ 警告

⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。

⚠ 注意

- ⚠ 本製品は湿気やほこりの多い場所、直射日光のある場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所を避け、必ず車内に取り付けて下さい。
- ⚠ 出来るだけフロアマット、カーペット等で覆わないようにして下さい。

お願い

- 両面テープを貼る面は、中性洗剤を使って、よごれ、油分をよく拭き取って下さい。

・本体固定方法

本体は、付属のM4ネジ、または市販のロックファスナー、ステー等を使用し、フロア等に確実に固定して下さい。

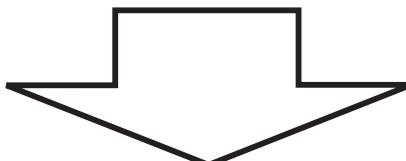
プレートは本体を車両に取付けした後、プレート裏のハクリ紙をはがして、しっかりと貼り付けて下さい。(エンブレムは本体に仮付けした状態で出荷されています。)

7. 最終確認

最終仕上げとして以下の項目を必ず確認して下さい。

- ・取り付けた配線が確実に接続されているか、ハーネスキット（点火）を使用している場合、点火順通りに正しく配線されているかもう一度確認して下さい。
- ・本体のロータリースイッチ、ジャンパー設定に間違いがないかもう一度確認して下さい。
- ・取り付けた配線が運転の妨げにならないように、きちんとまとめられ、固定されているかもう一度確認して下さい。
- ・本体部が運転の妨げにならないように、確実に固定されているかもう一度確認して下さい。
- ・本製品の取り付けの際に取り外した車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、配線が潰されていないかもう一度確認して下さい。
- ・バッテリーのマイナス端子を、外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めて下さい。
- ・初期設定終了後、再度IG ON（エンジン未始動）状態でACTIVE L.E.D.がグリーンに点灯している事を確認して下さい。グリーンに点灯していない場合は、94ページ以降の「26.トラブルシューティング」を参照して下さい。
- ・確認終了後、本体のみで使用する場合は、エンジンを始動して下さい。ACTIVE L.E.D.がエラー表示（レッド高速点滅）していないか確認して下さい。

エアフロ交換や、インジェクター交換を行っている場合はe-manage softwareにて設定が必要ですので、この時点ではエンジンは始動しないで下さい。



最終確認ができましたら、

本体のみで燃料調整を行う場合は28ページ以降の「8.本体のみでの使用方法について」へ、e-manage softwareを使用して補正設定を行う場合は32ページ以降の「9.インストールの前に」へ進んで下さい。

8. 本体のみでの使用方法について

- ◎本製品は、e-manage software（パソコン用ソフトウェア）を使用しなくても、本体フロントパネルについている、AIR-FROW ADJUST VOL.(A.A.V.)を調整するだけで、簡単にエアフロ電圧の補正が可能です。
- ※基本的には、エアフロ電圧値を下げるとき燃料の噴射は減り、点火時期が進角します。逆にエアフロ電圧値を上げると燃料の噴射は増え、点火時期が遅角します。

エアフロセンサー（又は圧力センサー）から出力された信号を読み取りエアフロ電圧値から吸入空気量の値を算出し、A.A.V.に応じた吸入空気量の値を再びエアフロ電圧に換算し、ECUへ出力します。

AIR-FROW ADJUST VOL.調整について

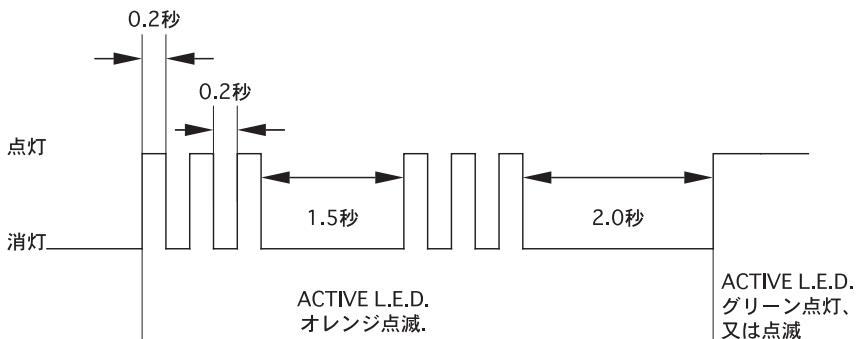
- 1.ACTIVE L.E.D.は本体に電源が投入されるとグリーンになります。
- 2.補正は付属の調整ドライバーを使用し、各A.A.V.を右（プラス）側、又は、左（マイナス）側へ回しますとエアフロ・アジャストモードになり、設定ができます。
- 3.A.A.V.による補正是±20%（1%毎）の範囲で設定可能です。
設定中はACTIVE L.E.D.が消灯しますが、補正值が0%の位置になるとACTIVE L.E.D.はオレンジ点滅します。
- 4.2秒以上操作しなければ、ACTIVE L.E.D.のオレンジ点滅パターンで現在の補正值を次ページの表示方法で2回表示します。（補正值の表示は絶対値で行います。）
- 5.補正值を2回表示後、ACTIVE L.E.D.がグリーンに変わり、設定終了となります。
- 6.目標補正值に合うまで3～4の操作を各ポイント毎に繰り返し行って下さい。

8. 本体のみでの使用方法について

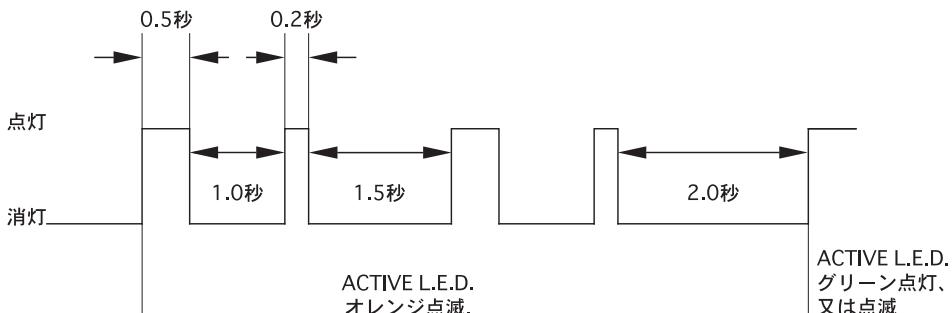
◎A.A.V.による補正值設定中の表示方法

A.A.V.調整後のACTIVE L.E.D.の点滅回数により、現在の設定値の確認が出来ます。

・補正值3%の場合



・補正值-11%の場合



お願い

各ポイントの補正值はメモを取っておく事をお勧め致します。
確定後はe-manage softwareに接続しないと補正值の確認が出来ません。

通常時のACTIVE L.E.Dの動作について

1. 実際のエンジン回転数が設定回転数になった時、ACTIVE L.E.D.はグリーンからオレンジになります。
(2000、3000、4000、5000、6000rpmでオレンジになります。)
2. 実際に補正を行っている時、ACTIVE L.E.D.は点滅します。
補正が1%～10%の時、点滅になります。
補正が10%～20%の時、速い点滅になります。

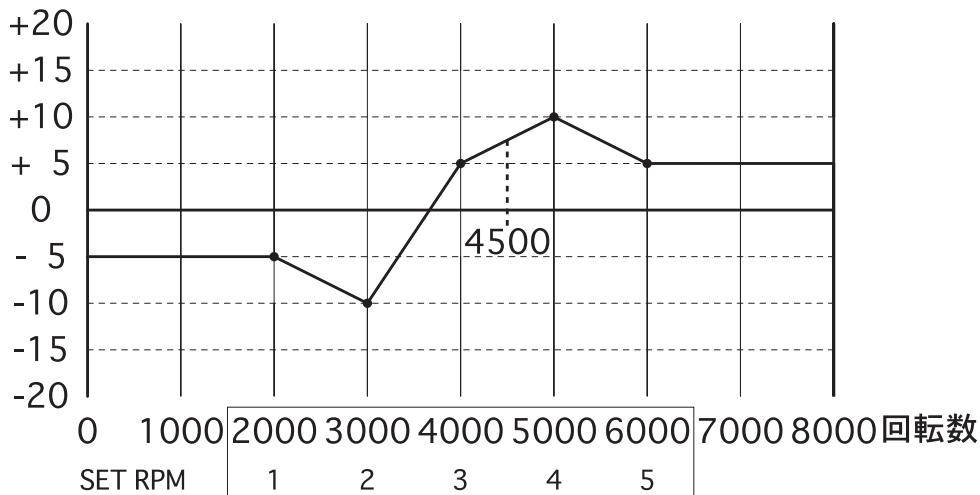
8. 本体のみでの使用方法について

◎A.A.V.による実際の燃料補正について

例 各SET RPM回転数、及びA.A.V.補正值が以下の場合

SET RPM	1	2	3	4	5
設定回転数	2000rpm	3000rpm	4000rpm	5000rpm	6000rpm
A.A.V.補正值	-5%	-10%	+5%	+10%	+5%

補正值



補正值は上記のグラフのようになります。

SET RPM間の補正值は、前後の補正值を補間し決定されます。

例 上記グラフにて4500rpmの時は、SET RPM3とSET RPM4の間になる為、補正值は+7.5%となります。

尚、2000rpm以下はSET RPM1の補正值-5%、6000rpm以上はSET RPM5の補正值+5%となります。



各SET RPMの設定回転数は、e-manage softwareを使用する事で変更が可能です。 (47ページ参照)

8. 本体のみでの使用方法について

◎VTEC切り換えポイントの変更

フロントパネルのVTEC POINT VOL. (V.P.V.) を使用し、ノーマル状態でのVTEC切り換えポイントをセンターに±1000rpm (100rpm毎) の範囲で変更出来ます。

※VTEC切り換えポイント変更直後の1回目はポイント認識の為、変更前のポイントで切り替わり2回目以降からは変更後のポイントで切り替わります。

◎VTECエアフロー・アジャスト機能

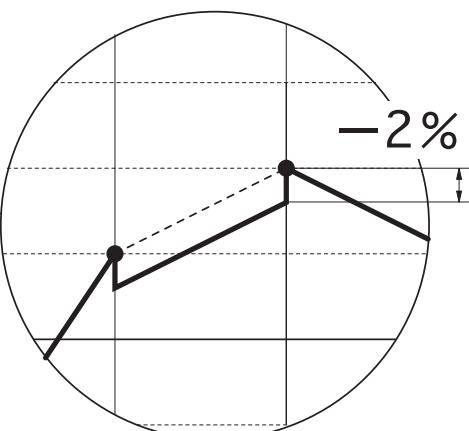
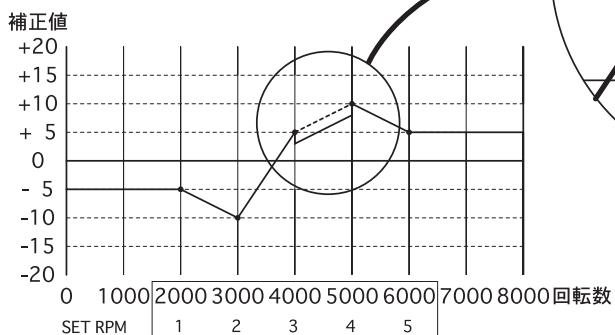
e-manageにてVTEC切り換えポイントの変更をした際、ECUから出力される切り換えポイントと実際の切り換えポイントにはズレが発生する為、燃調がずれてしまいます。

この機能は切り換えポイントのずれている間だけ、A.A.V.だけでは調整出来ない細かい補正を行う事が可能です。

VTEC AIR-FLOW ADJUST VOL. (V.A.A.V.) を使用し、±10% (1%毎) で設定出来ます。

この補正是、A.A.V.の補正值にそのままプラス、又はマイナスする形で計算されます。

例 ノーマルVTEC切り換えポイントが5000rpm。VTEC切り換えポイントを4000rpmに変更し、V.A.A.V.を-2%に設定した場合。
点線のA.A.V.補正值から、実線の-2%の補正が行われます。



ここまでで、本体のみで使用する場合の設定方法は終了です。

- ◎e-manage softwareを使用する事で、エアフロ補正MAP、I/J補正MAP等、本体の拡張機能を使用する事ができます。
e-manage softwareを使用する場合、ソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

本製品はWindows2000、XP、Windows7（64ビット仕様は非対応）での動作を前提にしておりるので下記に示す条件を満たしているパーソナルコンピュータ

（以下PCと称す）を使用して下さい。

OS（オペレーティングシステム）はWindows2000、XP、Windows7をご用意下さい。

- ・必要システム PC/AT互換（DOS/V）機
- ・Pentium 350MHz以上
- ・メモリ 16MB以上（32MB以上を推奨）
- ・ハードディスク空き容量 最低20MB以上
- ・インターフェース USB1.1以上
- ・ディスプレイ 解像度 1024×768のサイズでHigh Color（16ビット）以上
- ・インターネットに接続できる環境（ソフトウェアのインストールに使用）

以上の条件をクリアしているもの、又は、すでにWindows2000、XP、Windows7をインストール済みのPCで、e-manage softwareは十分動作しますが、応用した使用方法（リアルモニター等）を快適に動作させる為には、

- ・Pentium ii 266MHz以上を搭載したPC
- ・メモリ 128MB 以上

を推奨致します。

尚、Windowsのセットアップ及びインストールについては、
Windowsソフトに付属のファーストステップガイドを参照し行って下さい。

10. ソフトウェアのインストール

e-manage用ソフトウェア「e-manage software」をインストールする場合は、以下の手順に従って進めて下さい。

★e-manage softwareのインストール★

ソフトウェアのインストールは、弊社ホームページより行って頂きます。

弊社ホームページ→www.trust-power.comより

→製品紹介

→エレクトロニック

→e-manage

→e-manage softwareのダウンロード

→ダウンロードしたファイルのインストール

の順で進めていきますと、オートインストールを開始致します。



e-manage softwareのインストールが完了しましたら、デスクトップに右のようなショートカットアイコンが作成されます。

重 要

- ・パソコン側の設定によっては、オートインストールが上手く作動しない場合がございます。このような場合、パソコンのセキュリティ設定を解除するか、ホームページ内の「オートインストールが作動しない場合」をご参照ください。
- ・インストールはできたが動作がおかしい場合や、上手く通信できない場合は、アプリケーションの削除を行い、パソコン側の設定をご確認の上、再度インストールを行って下さい。

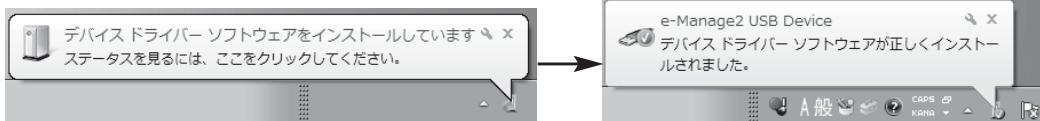
★アプリケーションの削除方法（アンインストール）★

- 1.Windows「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
- 2.「セットアップと削除」のリストの中から、「GReddy e-manage software」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックして下さい。
- 3.次の画面が表示されたら「OK」をクリックして下さい。
- 4.「アプリケーションの追加と削除」のウインドウに戻りましたら、「OK」をクリックして「コントロールパネル」に戻ります。
- 5.「コントロールパネル」の「×」をクリックし「コントロール」を閉じて下さい。

11. USBドライバのインストール

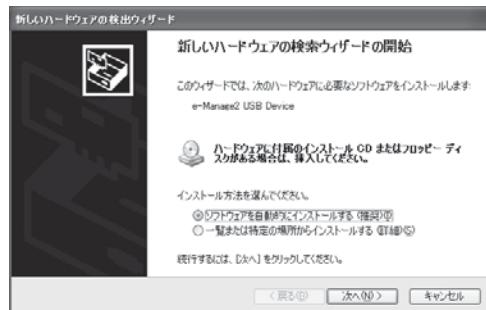
GReddy e-manage softwareをインストールした後、本体をUSBケーブルでパソコンに接続するとe-manage USB Deviceが自動的に認識されハードウェアウィザードが起動しますのでインストール手順に従ってUSBドライバのインストールをしてください。

※windows7の場合、認識をした時点でインストールをし、終了するものもございます。



◎自動でインストールする場合

- 1.e-Manage2 USB Deviceが検出されます、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



- 2.「ソフトウェアをインストールしています。お待ちください・・・」というメッセージが表示され、インストールが開始されます。
自動的にインストールが始まらない場合は、36ページ以降の「手動でドライバを指定する場合」をご参照下さい。



11. USBドライバのインストール

3. WindowsXPの場合、ハードウェアのインストールを注意するダイアログが出ますので、「続行」ボタンを押します。



4. 「完了」ボタンを押して終了します。



11. USBドライバのインストール

◎手動でドライバを指定する場合

1.e-Manage2 USB Deviceが検出されます、「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンを押します。



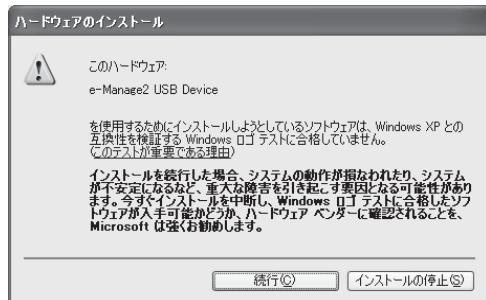
2.「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択して、「次の場所を含める」のチェックボタンを選択し、「参照」を押して以下のディレクトリをエクスプローラーより選択し「次へ」を押します。

C:\Program Files\TRUST\GReddy e-manage software\driver



11. USBドライバのインストール

3. WindowsXPの場合、ハードウェアのインストールを注意するダイアログが出ますので、「続行」ボタンを押します。



4. 「完了」ボタンを押して終了します。



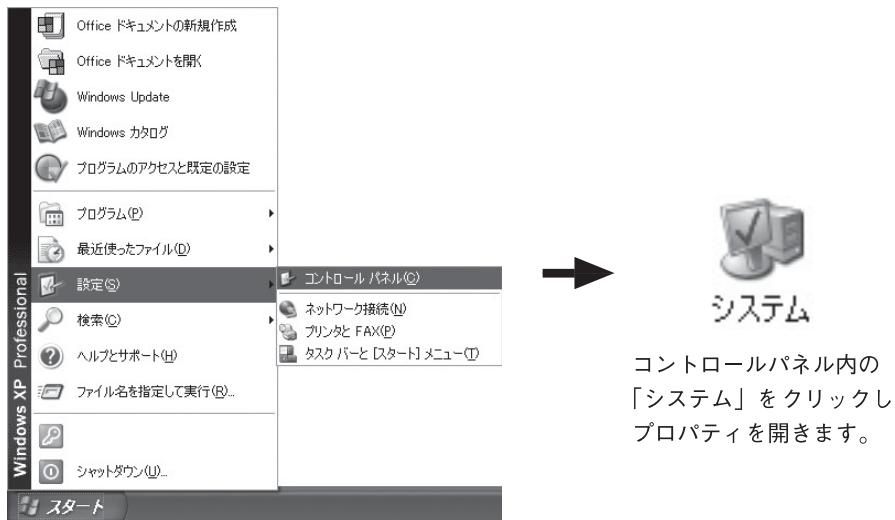
11. USB ドライバのインストール

◎USB ドライバのインストール先を指定する場合

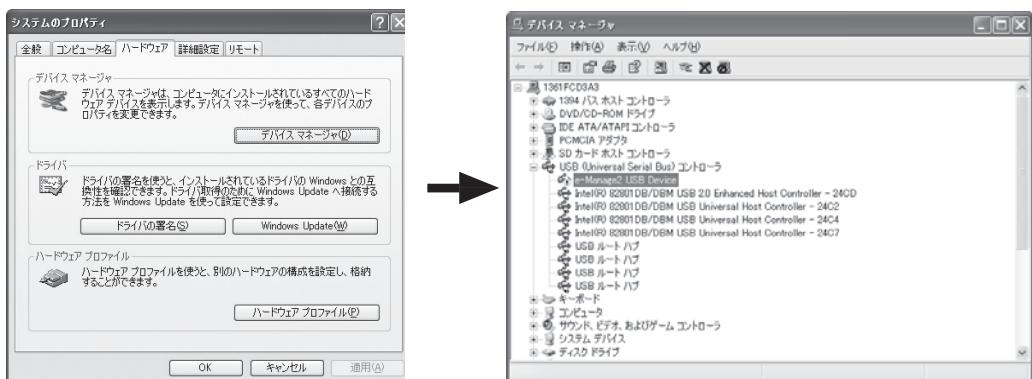
USB ドライバのインストールに失敗した等で再度USB ドライバをインストールする際は、以下の手順で行います。

- e-manage 本体とPC を接続します。

1. 「設定」→「コントロールパネル」内の「システム」を開きます。



2. 「ハードウェア」のタブを選択し、「デバイスマネージャ」を開くと、「e-Manage2 USB Device」と表示するので、



11. USBドライバのインストール

3. 「ドライバの再インストール」をクリックすると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。



4. 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」を押します。



5. 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択して、「次の場所を含める」のチェックボタンを選択し、「参照」を押して以下のディレクトリをエクスプローラーより選択し「次へ」を押します。

C:\¥Program Files¥TRUST¥GReddy e-manage software¥driver



11. USBドライバのインストール

6. WindowsXPの場合、ハードウェアのインストールを注意するダイアログが出ますので、「続行」ボタンを押します。



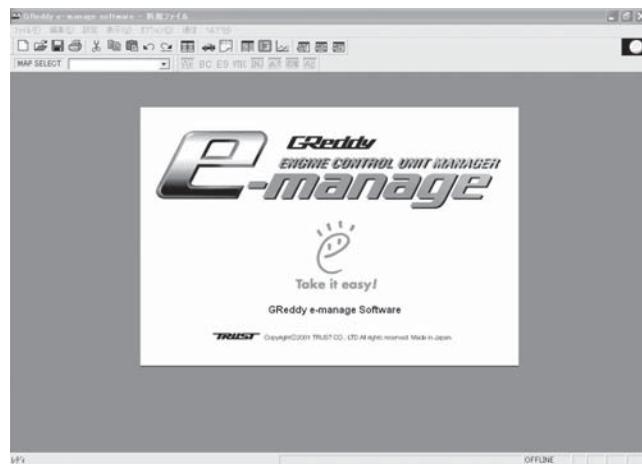
7. 「完了」ボタンを押して終了します。



12. 初めに行う操作

★アプリケーションの起動★

1. 車両のIGキーを「OFF」の状態で、USBケーブルの（A-B）をPC側とe-manage本体に接続します。
2. 車両のIGキーを「ON」にして、ショートカットアイコンをダブルクリックし、e-manage softwareを起動させます。
3. e-manage softwareを起動させると下の画面が表示されます。



お願い

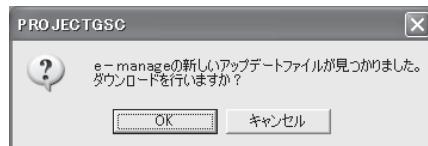
必ず通信ケーブルはUSB1.1以上対応のケーブルを使用して下さい。

12. 初めに行う操作

★本体アップデート★

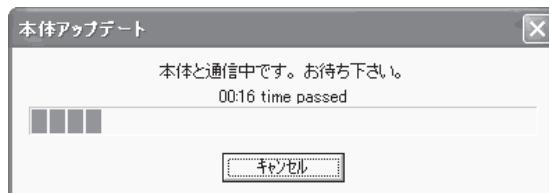
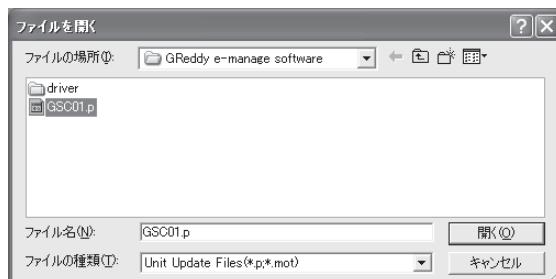
- ・e-manage本体のプログラムを最新版へ更新する場合に行います。
※最新版のプログラムは弊社ホームページよりダウンロード出来ます。

1.電源が入った状態のe-manage本体を接続した際、e-manage本体のバージョンが低ければ、自動的に以下のダイアログが表示します。
OKボタンを押し、本体のアップデートを開始します。

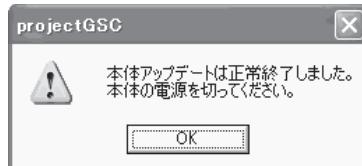


2.アップデートファイル「GSC01.p」を選択すると、e-manage本体のアップデートが始まります。

ダウンロードには、約2分程掛かります。



3.アップデート終了後、IG OFFにしe-manage本体の電源が切れた事を確認し、OKボタンを押して下さい。



12. 初めに行う操作

4. メニューバー「ヘルプ」でバージョンを確認します。

e-manage本体のバージョンがパソコン側と同じであればアップデートは終了です。



バージョンが全て同じ事を確認する。
違つていれば下記の★手動でのアップデート★
を参照し、アップデートを行なう。
バージョンの見方は63ページ参照

★手動でのアップデート★

アクティブL.E.D.が「赤、緑、橙」の交互点滅を行う、ダウンロードモード（アップデート中にe-manage本体の電源が切れてしまい、アップデートに失敗した状態）等になってしまい、パソコンとの通信が不能になった場合、手動でアップデートを行う事で復帰する事が出来ます。

この場合、設定データが壊れている可能性がある為、新規ファイル、または保存したファイルを送信して下さい。

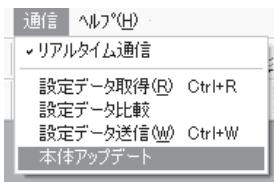
・本体アップデートを行う際は、画面下のステータスバーに「ONLINE」と表示されているか必ず確認します。

※「ONLINE」にならない場合、34~40ページを参照してUSBドライバが正しくインストールされているかご確認下さい。



◎手動でのアップデート方法

メニューバーの「通信」より「本体アップデート」を選択すると、42ページの2の画面になりますアップデートが出来ます。



※アップデートファイル「GSC01.p」は必ずe-manage softwareのフォルダ内に入れて下さい。

e-manage softwareフォルダの場所は、インストール時、特にフォルダを指定していない場合、「C:\Program Files\TRUST\GReddy e-manage software」になります。

フォルダ内に「GSC01.p」が無い場合、ソフトウェアとe-manage本体のバージョンが比較できない為、自動アップデートが行えません。

13. 本体設定情報の確認



★本体設定情報の確認★

- 車両のIGキーを「ON」（エンジン未始動状態）にし、ステータスバーに「ONLINE」と表示されているか確認します。
※「ONLINE」にならない場合、34~40ページを参照してUSBドライバが正しくインストールされているかご確認下さい。
また、本体バージョンがe-manage softwareと同じであるかご確認下さい。
- メニューバーの「設定」→「本体設定情報」又は、ツールバーの「本体設定情報」アイコンにて、e-manage本体の初期設定情報を確認します。
※この画面は確認画面になりますので、各設定の変更は出来ません。

本体設定情報

ロータリーSW1	4	点火入力ジャンパー設定	ブルダウン			
ロータリーSW2	0	点火出力ジャンパー設定	5V			
ロータリーSW3	7					
エアフロ1	使用する	エアフロ1				
エアフロ2	使用しない					
エアフロパルス入力	使用しない					
エアフロパルス出力	使用しない					
A.A.V.値						
回転数rpm	内部始点 2000	ポイント1 2000	ポイント2 3000	ポイント3 4000	ポイント4 5000	ポイント5 6000
VR値%	-	0	0	0	0	0

- ロータリーSW 本体のロータリースイッチ1~3の設定を確認出来ます。
 - 点火ジャンパー設定 . . 本体の点火入力、出力ジャンパー（JP1,JP2）の設定を確認出来ます。
 - エアフロ1 ハーネスの白線（エアフロ電圧1入力）の使用方法を確認出来ます。
 - エアフロ2 ハーネスの黄色線（エアフロ電圧2入力／VTEC出力）の使用方法を確認出来ます。
 - エアフロパルス入力 . . ハーネスの水色線（エアフロパルス入力／VTEC入力）の使用方法を確認出来ます。
 - エアフロパルス出力 . . ハーネスの紫線（エアフロパルス出力／VTM出力）の使用方法を確認出来ます。
 - A.A.V.値 各SET RPMでのA.A.V.ボリューム値を確認出来ます。
- ロータリースイッチの2,3の設定により自動で選択されます。

14. パラメータ設定

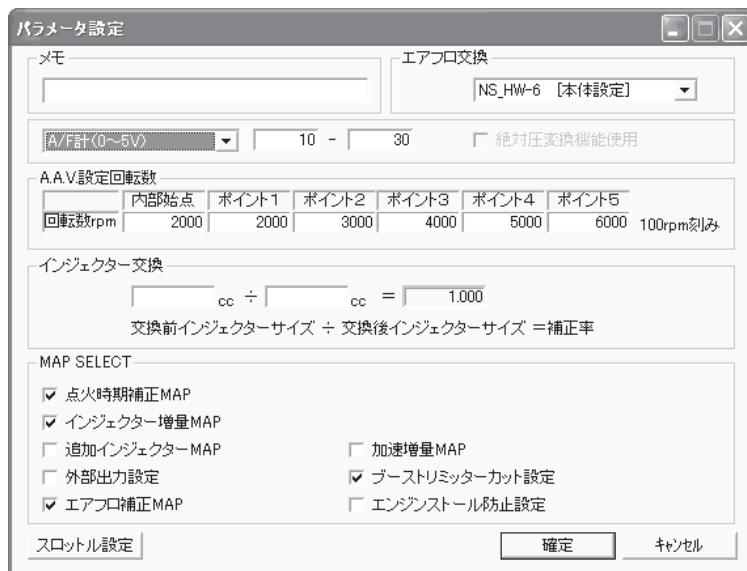


★パラメータ設定★

この画面ではエアフロ交換、インジェクター交換、スロットル設定や、どのMAPを使用するかの設定を行います。

はじめて使用するときだけでなく、各機能を追加、削除するときにも使用します。

- メニューバーの「設定」→「パラメータ設定」又は、ツールバーの「パラメータ設定」ボタンを選択すると、下の画面が表示されます。



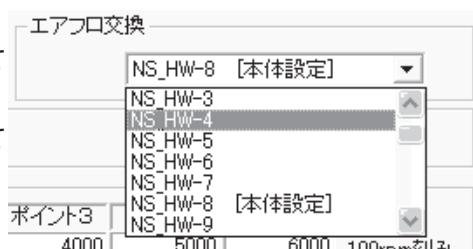
★パラメータの設定方法★

◎エアフロ交換

- エアフロ交換を行った場合、交換後のセンサー種別を巻末の車種別信号位置図から参考し、プルダウンメニューから選択します。
- 本体のロータリースイッチで設定されたエアフロは「[本体設定]」と表示されます。

※エアフロ交換とは・・・

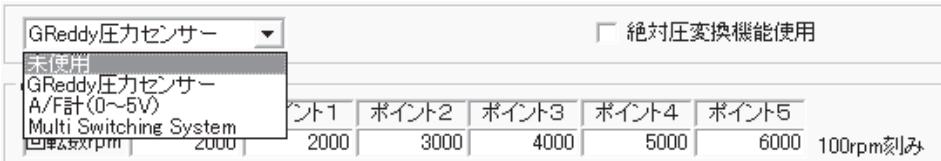
エアフロ電圧を增量方向に補正する事で行っています。設定を行った場合は、必ずA/F計等で空燃比を確認し、ノッキング等に十分注意して下さい。



14. パラメータ設定

◎外部信号入力

BOOSTコネクタにオプションパーツを接続した場合、プルダウンメニューで設定します。
※オプションパーツにつきましては11ページをご参照下さい。



- GReddy圧力センサー
各MAPで負荷軸（縦軸）に使用する場合に選択します。
- A/F計 (0~5V)
A/F計入力ハーネスを使用し、データロガーでA/F値を表示する場合に選択します。
使用するA/F計の、0~5Vに対応する換算値（初期値は10~30）を入力します。
※使用できるA/F計は、外部出力（0~5V）がある物になります。
- Multi Switching System
MSS認識アダプタを使用し、マルチスイッチングシステム、またはデュアルスイッチングコントローラーがONの時、点火補正を行う事ができます。
入力範囲：-20～+20°、1°刻み
※MAPSELECTで点火時期補正MAPを選択しないと、プルダウンメニューには表示しません。

※GReddy圧力センサー、A/F計入力ハーネス、MSS認識アダプタは、同時に使用する事はできません。

◎絶対圧変換機能

- ・絶対圧とは・・・

真空をゼロとして測った圧力であり、純正の圧力センサーは全てこのタイプです。
大気圧がほぼ100kpaになります。標高が高い所等にも対応できます。

- ・相対圧とは・・・

一般的にブーストメーター等で使われている大気圧をゼロとして測った圧力です。

絶対圧変換機能を使用する場合、チェックを入れます。

- ・純正の圧力センサーの測定範囲を超えてしまうような場合にも、GReddy圧力センサーと純正圧力センサーの2つのセンサーから絶対圧を計算し、MAPのスケールに使用することができます。

※純正のエアフロが圧力センサーの場合のみ、選択する事ができます。

※GReddy圧力センサーを選択しないと使用できません。



エアフロ容量が不足している車両などで、エアフロ電圧のかわりに圧力をe-manageでのMAPの負荷軸スケールに使用して、ブースト値により補正を行う事で、Dジェットロ的な使い方ができます。但し、エアフロレスにはできません。

14. パラメータ設定

◎各SET RPMにおけるA.A.V.設定回転数の変更

- ・e-manage本体のフロントパネルにあるAIR-FROW ADJUST VOL. (A.A.V.) の各SET RPMにおける設定回転数を変更する事ができます。
入力範囲は0~10000rpm、100rpm刻みで設定できます。

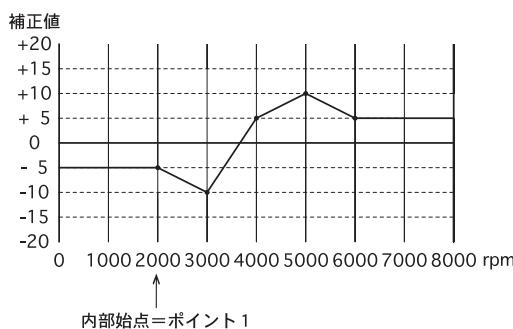
※内部始点について

内部始点=ポイント1の値にすると、ポイント1での補正值がポイント1以下で有効となります。(出荷時は内部開始点=ポイント1)

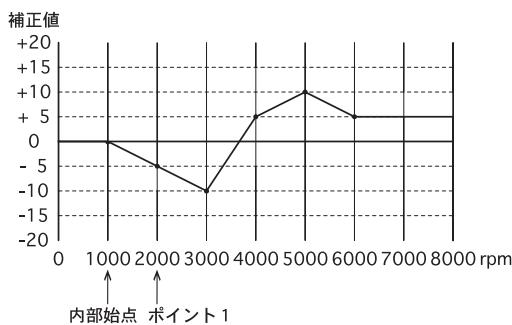


内部始点はアイドリングではエアフロ補正を行いたくないとき等に使用します。

(例1) 出荷時は内部始点=ポイント1



(例2) 内部始点を1000rpmに設定すると、1000rpm以上で補正が始まります。



14. パラメータ設定

◎インジェクター交換の有無

- ・インジェクターを交換した場合、インジェクター容量の違いによる燃調のずれを全域においてエアフロ補正をすることで、インジェクターの変更に対応出来ます。
設定画面にて交換前インジェクターサイズを左側へ、交換後インジェクターサイズを右側へ入力します。
尚、インジェクターサイズの入力部分は入力時しか表示せず、次回パラメータ設定画面を開いたときは補正值のみの表示になります。

※インジェクターの容量が極端に大きいものに交換した場合、始動性等に問題が発生する可能性がありますので、交換前のインジェクター容量の1.5倍を一つの目安として下さい。

※インジェクター交換信号とは・・・

エアフロ電圧を減量方向に補正する事で行っています。設定を行った場合は、必ず、A/F計等で空燃比値を確認し、ノッキング等に十分注意して下さい。

インジェクター交換		
<input type="text"/> 380 cc	<input type="text"/> ÷ <input type="text"/> 550 cc	= <input type="text"/> 0.691
交換前インジェクターサイズ ÷ 交換後インジェクターサイズ = 補正率		

◎MAP SELECT

- ・使用する設定、MAPにチェックを入れます。

MAP SELECT	
<input type="checkbox"/> 点火時期補正MAP	<input type="checkbox"/> 加速増量MAP
<input checked="" type="checkbox"/> インジェクター増量MAP	<input type="checkbox"/> ブーストリミッターカット設定
<input type="checkbox"/> 追加インジェクターMAP	<input type="checkbox"/> エンジンストール防止設定
<input type="checkbox"/> 外部出力設定	
<input checked="" type="checkbox"/> エアフロ補正MAP	

重 要

スロットル設定を行わないとエンジンストール防止設定を使用することができません。

スロットル設定を行わないとエアフロ補正MAPにおいてスロットル開度による補正ができません。

14. パラメータ設定

◎スロットル設定

- ・パラメータ設定 画面左下の「スロットル設定」ボタンを押し、スロットルの全開と全閉の電圧値を設定します。

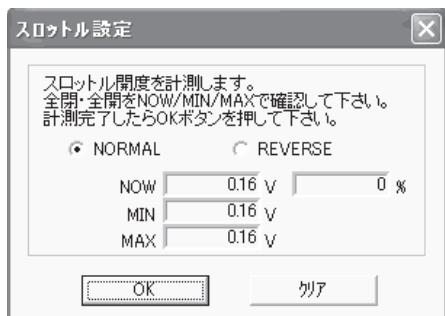
※スロットル設定を行わないと、エンジンストール防止設定を選択できません。

※スロットル設定を行わないと、補正MAPでスロットル開度による補正ができません。

(設定方法)

- ・車両のスロットルセンサーティプをNORMAL、REVERSEより選択します。
- ・一度「クリア」を押してから、車両のIGキーをON（エンジン未始動）状態でアクセルを数回ON/OFFし、全開、全閉の電圧を認識させます。
- ・アクセルのON/OFFに伴い、0～100%に変動することが確認出来ましたら「OK」で確定します。

※エンジンが掛かっている状態でも、瞬時にスロットルを全開まで踏み込むことで認識させることができます。



NORMAL アクセルを踏むと電圧が上がるタイプ。
REVERSE アクセルを踏むと電圧が下がるタイプ。

NOW 現在、認識しているスロットル電圧です。
スロットル開度を0～100%で表示します。
MIN 認識したスロットル電圧の最低値です。
MAX 認識したスロットル電圧の最大値です。

重 要

エンジンが掛かっている状態でスロットル設定を行う場合は、回転の上がり過ぎに注意し、周囲にも十分注意して下さい。

スロットル信号がない車両、また、スロットル信号が全閉スイッチ、全開スイッチのみ車両はスロットル設定ができません。

◎設定の確定

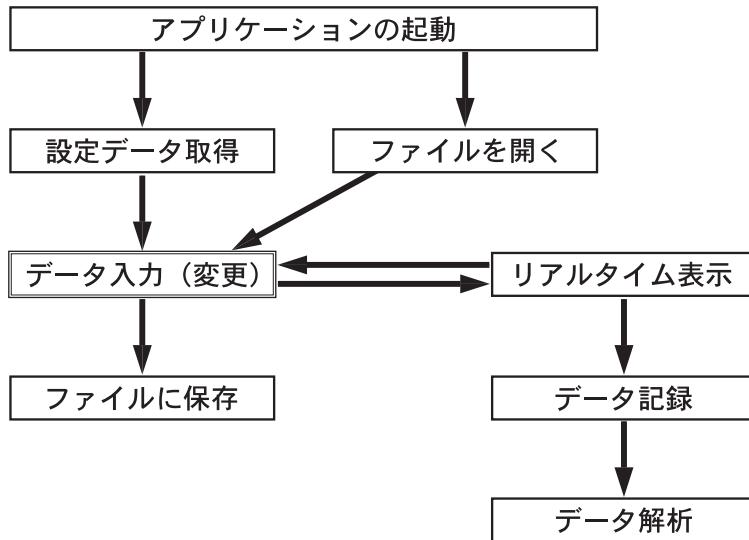
パラメータ設定が終了したら、「確定」を押し、設定を本体に送信します。

以下の画面が表示されるので画面に従い一度キーをOFFにします。



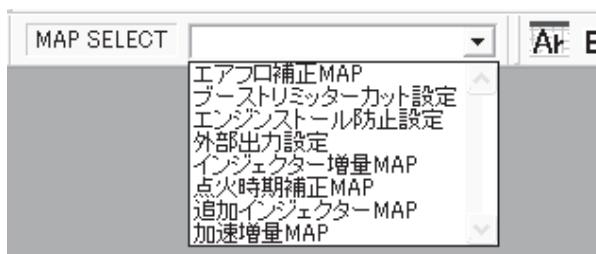
15. 設定、入力方法について

◎基本的な設定方法



◎設定、MAP画面の開き方

- ・ツールバー下のMAP SELECTのプルダウン項目又は、右隣の各MAPのアイコンにて画面を開きます。
- ・各設定、MAP毎にウィンドウの位置、大きさを記憶するようになっています。各設定、MAPのウィンドウを閉じても変更した設定値は消えません。設定値は一括で1つのファイルとして扱います。



15. 設定、入力方法について

◎設定値の入力（変更）方法

- ・入力エリアをクリックすると、設定値を直接入力できます。
- ・MAPの青い部分を選択すると回転数の一列、または、負荷軸の一行毎に入力出来ます。
- ・範囲を選択して設定値を入力すると、選択エリアを一括入力できます。
- ・＊の後、数値を入力し、エンターを押すと、選択された範囲との相対演算（かけ算）を行います。
- ・PageUpを押すと最小ステップ（刻み）分加算します。
- ・PageDownを押すと最小ステップ（刻み）分減算します。
- ・プルダウンメニュー又は、ツールバーの取り消し機能を使用すると直前の変更を取り消せます。
- ・入力された値が指定範囲外、又は最小ステップ（刻み）から外れていた場合は、自動的に一番近い正常値を表示します。
- ・スケール変更で昇順又は降順に値を指定する必要があるところで倒置が発生した場合は異常がある部分を赤く表示します。
- ・数値及び＊以外の文字を入力した場合、入力は無視されます。



◎均等割付

- ・範囲を選択して均等割付ボタンを押すと、四角の数値を基準に選択範囲の数値を均等になります。

0	0	0	0	0	0	0
0	-5	0	0	0	20	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	15	0	0	0	50	0
0	0	0	0	0	0	0



0	0	0	0	0	0	0
0	-5	1	7	13	20	0
0	2	9	16	23	30	0
0	8	16	24	32	40	0
0	15	23	32	41	50	0
0	0	0	0	0	0	0

◎設定値の初期化方法（マップクリア）

- ・メニューから新規作成を選択し、そのままe-manage本体に送信、確定することで内部設定データはすべて初期化されデフォルト値に戻ります。

ただし、e-manage本体のロータリースイッチ、JP設定は戻りません。

※データ送信については63ページ参照



Take it easy!

e-manage本体を別の車両に使用するときに使用します。

16. 設定、MAP画面について

BC ◎ブーストリミッターカット設定

- ・吸入空気量の増大により、ECUが燃料カットを行うのを防止出来ます。この燃料カットが起きると、ブーストを上昇させることが出来ないだけでなく、最悪の場合、エンジンブローに至ってしまう可能性があります。
- ・16ポイントの回転数において、エアフロ電圧（周波数）、圧力センサー電圧に上限（クランプ値）を設定します。
但し、ECUは増大した空気量を認識出来ない為、インジェクター増量MAPと併用する必要があります。

（設定方法）

- 1.データロガー機能等で実際にリミッターが入ったときの回転数、エアフロ出力電圧（周波数）、インジェクター噴射率を記録します。
- 2.クランプ値をインジェクターの噴射率が0%になった時より少し低い値をクランプ値として入力します。

ブーストリミッターカット設定																
エアフロ ホットワイヤ(V)																
回転数	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
クランプ値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

回転数 : rpm

入力範囲 : 0~10000rpm、100rpm刻み

クランプ値 : エアフロの種類に合わせて自動切り替え

入力範囲 : 0~5V、0.02V刻み (エアフロ、圧力センサー : V)

入力範囲 : 0~3150Hz、5Hz刻み (カルマン渦エアフロ : Hz)



ブーストリミッターが入らない車輌にはこの機能は必要ありません。

重 要

クランプ値を0V (Hz) にすると、その回転数でのエアフロ出力が0V (Hz) になりますので、エンジンがかからなかったり、ストールしてしまいますのでご注意下さい。

16. 設定、MAP画面について

ES ◎エンジンストール防止設定

- ・タービンの吹き返しによるエアフロ信号の誤認識や、エンジンストールを防止できます。
- ・設定開度以下をアクセルOFFと認識し、8ポイントの回転数において、エアフロ電圧（周波数）、圧力センサ電圧を固定して出力します。
- ・時間を設定することで、実際に吹き返しが起こる時のみ機能します。

（設定方法）

- 1.データロガー機能等で実際にストールしたときの回転数、エアフロ入力電圧（周波数）、インジェクター噴射率を記録します。
- 2.エアフロ電圧が乱れる回転数を画面の右端に入力し、エアフロ電圧が乱れる前後のエアフロ電圧を見ながらクランプ値を入力します。
※開度を1%に設定した場合は、スロットル全閉状態の時のみ機能します。
※開度を0%に設定した場合は、機能しません。
- 3.機能させたい時間を入力します。
※0.0Sに設定した場合、時間に関係なく機能します。
※0.2S以上入力した場合、入力した時間のみ機能します。



開度：%

 入力範囲：0～10%、1%刻み

時間：s

 入力範囲：0～5s、0.2s刻み

回転数：rpm

 入力範囲：0～8000rpm、50rpm刻み

クランプ値：エアフロの種類に合わせて自動切り替え

 入力範囲：0～5V、0.02V刻み（エアフロ、圧力センサー：V）

 入力範囲：0～3150Hz、5Hz刻み（カルマン渦エアフロ：Hz）



エンジンがストールしない車輌にはこの機能は必要ありません。

スロットル設定を行わないと、エンジンストール防止設定は使用できません。

16. 設定、MAP画面について

VTEC ◎外部出力設定

- ・VTEC、NVCSアダプター、O₂センサー・アダプタ等の作動領域の設定が出来ます。
- ・PC側でVTEC、NVCSアダプター、O₂センサー・アダプタ等の設定を行うと、e-manage本体のV.P.V.及びV.A.A.V.の設定値は無効になります。
- ・ONになると12Vを出力します。

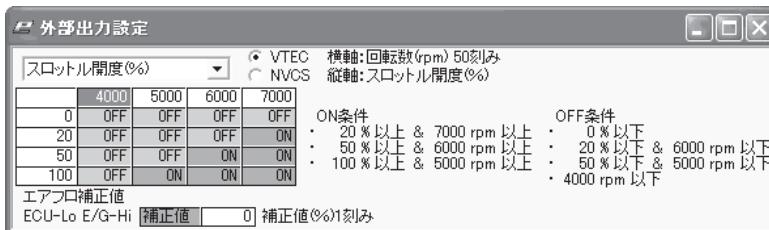
※回転数、及び負荷軸の数値を変更するMAPですので、MAP内のON、OFFのMAP形状は変更出来ません。

※VTEC MAP、NVCS MAPで作動条件が異なります。

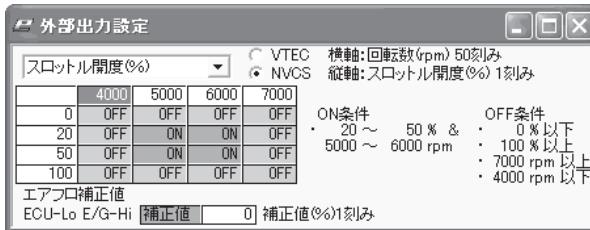
(設定方法)

- ・使用するMAPをVTEC又は、NVCSから選択します。
- ・希望の切り換えポイントになるよう、回転数、負荷軸の値を変更します。
- ・MAP下部のエアフロ補正值入力欄には、変更後切り換えポイントと、純正の切り換えポイントの間の、燃調がずれている領域に補正したいエアフロの補正值を入力します。

◆VTEC MAP



◆NVCS MAP



回転数 : rpm

入力範囲 : 0~10000rpm、50rpm刻み

補正值 : %

入力範囲 : -20~+20%、1%刻み

重 要

VTEC、NVCSアダプター、O₂センサー・アダプタ等を使用する場合は、必ず、JP3を2-3に設定して下さい。

16. 設定、MAP画面について

◎MAPのスケール（回転軸値、負荷軸値）の入力方法について

（入力方法）

・スケール変更ボタンを押すとスケール変更モードになり、スケール変更ができます。

※スケール変更モード・・・スケール部分が反転し、PageUP・DOWN、入力で変更可能。

エアフロ ホットワイヤ(V)	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	3700
2.00	0	0	0	0	0	0	0	0
2.20	0	0	0	0	0	0	0	0
2.40	0	0	0	0	0	0	0	0
2.60	0	0	0	0	0	0	0	0
2.80	0	0	0	0	0	0	0	0
3.00	0	0	0	0	0	0	-1	0
3.20	0	0	0	0	0	0	-1	-1
3.40	0	0	0	0	0	0	-1	-1

・各MAP、設定値内の数値は0でノーマル状態（補正無し）になります。

回転軸 : rpm

入力範囲 : 0～10000rpm、100rpm刻み

負荷軸 : V,Hz,絶対圧力値 (kPa,kg/cm²,mmHg)

スロットル開度 (%)

相対圧力値 (kPa,kg/cm²,mmHg)

任意のポイント（16ポイント）を割り当てます。

単位は初期設定画面で選択したエアフロの種類に合わせて自動的に切り換わります。

また、単位を切り換えた場合、一番近い数値に換算します。

入力範囲 : 0～5V、0.05V刻み（エアフロ、圧力センサー : V）

入力範囲 : 0～3150Hz、50Hz刻み（カルマン渦タイプエアフロ : Hz）

入力範囲 : 0～100%、1%刻み（スロットル開度 : %）

入力範囲 : 0～5V、0.05V刻み（外部圧力センサー : V）

重 要

エアフロ補正MAPの負荷軸は、スロットル開度以外選択出来ません。

16. 設定、MAP画面について

Air ◎エアフロ補正MAP

- e-manage本体のAIR-FLOW ADJUST VOL. (A.A.V.) とは別に回転数とスロットル開度別にエアフロ補正ができます。
- 回転数、スロットル開度が各16ポイント設定できるのでより細かいセッティングができます。
- MAPに0を入力するとノーマル状態になります。(A.A.V.未設定時)
- e-manage本体の補正值 (A.A.V.) と加算される形で補正を行います。A.A.V.と併用することで、-70~+70%の補正が可能です。
- マイナス方向に補正を行うことで燃料の減量ができます。

※スロットル設定を行わないと、エアフロ補正MAPでスロットル開度による補正ができません。

(設定方法)

回転数、スロットル開度ごとのエアフロ補正值を入力します。

エアフロ補正MAP																	
スケール変更		縦軸:スロットル開度(%) 1刻み 橫軸:回転数(rpm) 100刻み 補正值(%) 1刻み															
		1000	1500	2000	2500	3000	3500	3700	4000	4500	4700	5000	5500	6000	6500	7000	8000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	3	2	2	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
15	0	0	0	0	0	3	2	2	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
20	0	0	0	0	1	6	2	2	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
25	0	0	0	0	1	6	4	4	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
30	0	0	0	0	1	6	4	4	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
35	0	0	0	0	1	9	4	4	1	-2	0	-1	-2	-2	-2	-2	-2
40	0	0	0	0	1	9	6	6	1	-2	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
50	0	0	0	0	1	9	6	6	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
60	0	0	0	0	2	12	6	6	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
70	0	0	0	0	2	12	8	8	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
80	0	0	0	0	2	14	8	8	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
90	0	0	0	0	2	14	8	8	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4
100	0	0	0	0	2	14	8	8	1	-4	0	-2	-4	-4	-4	-4	-4

補正值 : %

入力範囲 : -50 ~ 50 %、1%刻み



ECUの特性にもよりますが、プラスに補正すると、燃料は増量し、点火時期は遅角します。マイナスに補正すると燃料は減量し、点火時期は進角します。

重 要

大幅に補正を行うと、燃料だけでなく点火時期も変わってくる可能性があります。ノッキング等に十分注意して下さい。

16. 設定、MAP画面について

INJ ◎インジェクター増量MAP

- ・メインインジェクターの噴射終了から次の噴射開始までの間、メイン噴射に追加する形で追加噴射を行います。
- ・ノーマルの噴射時間に対する増量率を設定します。
- ・MAPに0を入力するとノーマル（増量していない）状態になります。
※但し、インジェクター噴射率が100%以上は増量出来ません。

※ブーストリミッターカット設定を使用した場合必要です。

(例) ノーマルのインジェクター噴射率が50%

MAPで設定した補正值（増量率）が30%の場合、

$$50 + (50 \times 0.3) = 65\%$$

(設定方法)

ノーマルの噴射時間に対する増量率を入力します。



補正值 : %

入力範囲 : 0~100%、0.5%刻み

お願い

減量方向は、エアフロ補正MAPでマイナス方向への補正することで行って下さい。

16. 設定、MAP画面について

AC ◎加速増量補正MAP

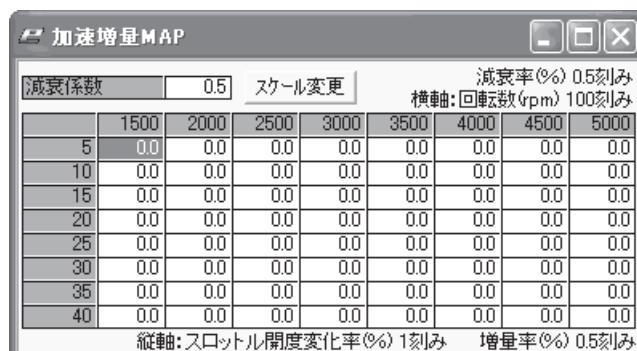
- ・50msあたりのスロットル開度変化量でインジェクターの增量ができます。
- ・素早くアクセルを踏み込んだ時、スロットル変化率は大きくなります。
- ・縦軸スケールは50msあたりのスロットル変化量です。
- ・補正值が大きくなる時は、MAPの補正值で動作しますが、補正值が小さくなる時は、I/J噴射毎に設定した減衰係数ずつ小さくなります。(減衰係数が小さい程、長く補正がかかります。)

(設定方法)

回転数、スロットル変化率ごとに、補正率を入力します。
減衰係数を入力します。

例) 減衰係数3%設定時に、補正值12%の補正が入った時

MAP値 0%→12%→0%→0% ··· 0%
実際の補正值 0%→12%→9%→6% ··· 0%
↑
補正が入った時



補正值 : %

入力範囲 : 0~100%、0.5%刻み

減衰係数: %

入力範囲: 0.5~20%、0.5%刻み

お願い

減量方向へ補正することはできません。

16. 設定、MAP画面について

追加インジェクターMAP

- ・後付けの追加インジェクターを回転信号2パルスに対して1回のタイミングで駆動出来ます。
(4気筒はエンジン2回転で2回、6気筒はエンジン2回転で3回噴射します。)
- ・噴射率が95%以上は数値が赤になります。
(単位を噴射時間にしても、噴射率95%以上で赤になります。)
- ・MAP内の単位はエンジン1回転あたりの噴射率、噴射時間から設定出来ます。
0~100%の範囲で設定出来ます。
- ・ある回転数以上は一定量噴射させたい場合、単位を噴射時間に設定すると便利です。
- ・メイン同期にチェックを入れると、メインI/Jの燃料カットに同期し、追加I/Jも停止する事ができます。

(設定方法)

追加インジェクターの噴射率、又は、噴射時間を入力します。

メイン同期を使用する場合、チェックを入れます。

エアフロ ホットワイヤ(V)	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
2.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

補正値 : %

入力範囲 : 0~100%、0.5%刻み

噴射時間:ms

入力範囲:0~40ms、0.1ms刻み

16. 設定、MAP画面について

点火 ◎点火時期補正MAP

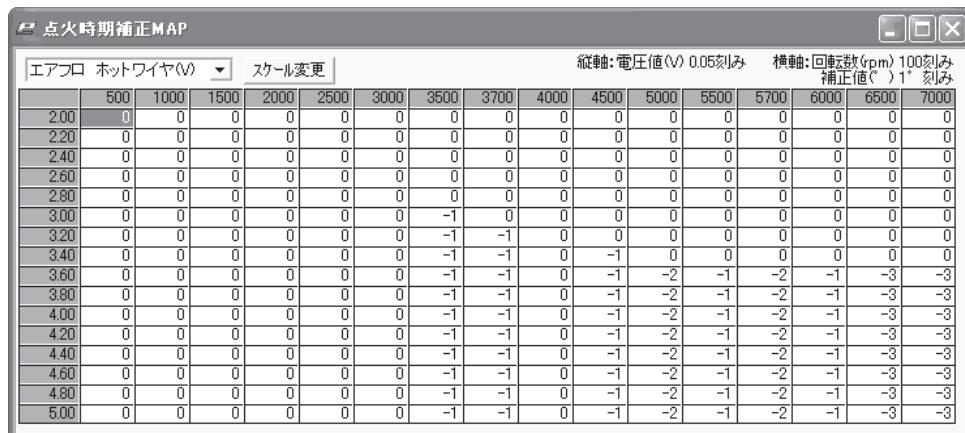
- ノーマルの点火時期に対して補正值だけ進角、または遅角させることで点火時期を調整できます。
- MAPに0を入力するとノーマル（補正していない）状態になります。
- MAPに正の値を入力すると進角します。
- 負の値を入力すると遅角します。-5と入力すると5°遅角します。

(設定方法)

ノーマルの点火時期に対する補正值を入力します。



ここで入力する数値は、進角、遅角の数値であり実際の点火時期ではありません。



補正值 :

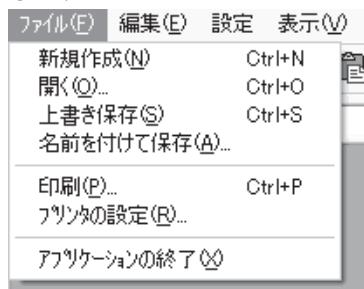
入力範囲 : -20~+20° 、 1° 刻み

重 要

e-manageはクランク角センサの信号を取り込んでいない為、車種、条件によっては進角側においてプラスマイナス1度程度ズレが発生してしまう場合があります。点火時期の調整は十分にエンジンコンディション、車両の仕様を把握した上でご使用下さい。

17. メニューバーについて

◎「ファイル」

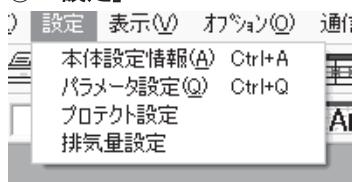


◎「編集」



元に戻す	直前の変更入力を取りやめます。
繰り返し	直前の変更入力を繰り返します。
切り取り	値をクリップボードにコピーし、切り取った部分を最小値にします。
コピー	値をクリップボードにコピーします。
貼り付け	クリップボードから値を貼り付けます。

◎「設定」

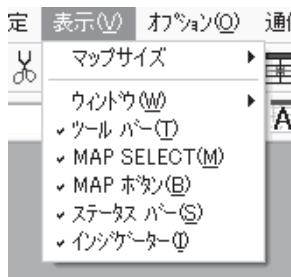


本体設定情報	本体設定情報を表示します。
パラメータ設定	パラメータ設定画面を表示します。45~49ページ 参照
プロジェクト設定	プロジェクト設定画面を表示します。71ページ 参照
排気量設定	排気量設定画面を表示します。 エアフロ電圧から充填効率（ホットワイヤー）、体積効率（フラップ、カルマン）をリアルタイム表示で表示させる場合、取り付けている車両の排気量を入力します。



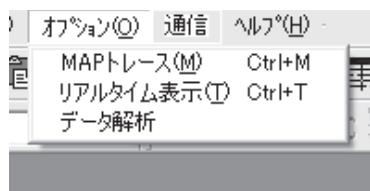
17. メニューバーについて

◎「表示」



- | | |
|------------|--|
| マップサイズ | マップのサイズを4段階（1：小～4：特大）に選択できます。 |
| ウィンドウ | 重ねて表示、又は並べて表示が選択できます |
| ツールバー | ツールバーの表示/非表示の切り換え時に使用します。 |
| MAP SELECT | MAP SELECTのプルダウン項目の表示/非表示の切り換え時に使用します。 |
| MAPボタン | 各設定、MAP画面のアイコンの表示/非表示の切り換え時に使用します。 |
| ステータスバー | ステータスバーの表示/非表示の切り換え時に使用します。 |
| インジケーター | インジケーターの表示/非表示の切り換え時に使用します。 |

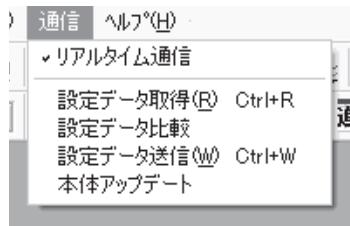
◎「オプション」



- | | |
|----------|---|
| MAPトレース | トレース設定画面を表示します。現在MAP内のどこを読んでいるか確認出来ます。65～66ページ 参照 |
| リアルタイム表示 | リアルタイム表示画面を表示します。項目を選択してリアルタイム表示出来ます。67～68ページ 参照 |
| データ解析 | 保存したデータをグラフ表示します。69～70ページ 参照 |

17. メニューバーについて

◎「通信」



リアルタイム通信

設定データ取得

設定データ比較

設定データ送信

本体アップデート

リアルタイム通信を行います。

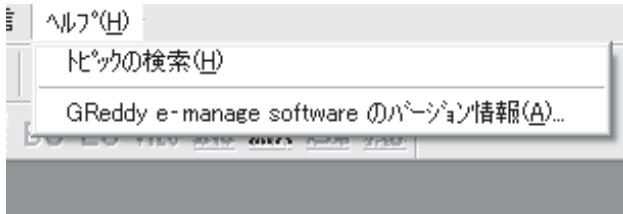
e-manage本体より設定データを取得します。この時、パスワードが必要な場合はパスワード入力画面を表示します。

指定されたファイルと画面上の設定データを比較し、同じかどうか確認します。

パソコン側で設定した全てのデータをe-manage本体へ送信します。

e-manage本体プログラムのアップデートを行います。

◎「ヘルプ」

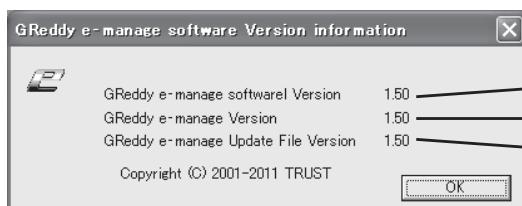


トピックの検索

目次及びキーワードから探したい語句を検索する事ができます。

GReddy
e-manage software
のバージョン情報

現在使用しているソフト、通信を行ったe-manage本体、e-manage本体アップデート後のバージョンを表示します。



現在使用しているソフトのバージョン

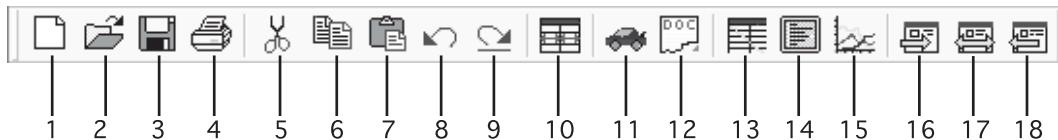
通信を行ったe-manage本体のバージョン

e-manage本体アップデート後のバージョン

18. ツールバーについて

★ツールバー★

ツールバーに表示されている各種アイコン名称及び機能は以下のようになります。



メニュー

- 1.新規ファイル
- 2.開く
- 3.上書き保存
- 4.印刷

編集

- 5.切り取り
- 6.コピー
- 7.貼り付け
- 8.元に戻す
- 9.繰り返し
- 10.均等割付 ······ 51ページ参照

設定

- 11.パラメータ設定 ······ 45~49ページ参照
- 12.本体設定情報 ······ 44ページ参照

オプション

- 13.MAPトレース設定 ······ 65~66ページ参照
- 14.リアルタイム表示 ······ 67~68ページ参照
- 15.データ解析 ······ 69~70ページ参照

通信

- 16.設定データ取得
- 17.設定データ比較
- 18.設定データ送信

★インジケーターについて★

- ・ツールバー右端にあるマークは、通信状態を示すインジケーターです。



OFF LINE ······ 黄色の点滅になります。

ON LINE ······ 緑色の点灯になります。

ON LINEリアルタイム通信中 ······ 緑色の点滅になります。

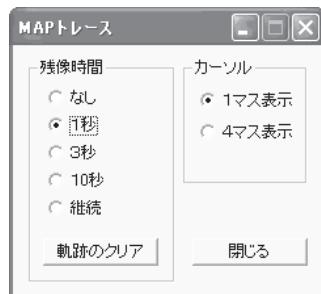
ON LINEデータ記録中 ······ 赤色の点灯になります。

19. MAPトレース機能



- この機能は現在MAPのどの位置を読んでいるか確認できる機能です。
- メニューバーの「オプション」→「MAPトレース」又は、ツールバーの「MAPトレース」ボタンにて、下の画面が表示されます。
- トレース画面が表示されインジェクター増量MAP等の16×16のMAPでは、MAPトレース機能が使用出来ます。
- マップ上の現在読んでいるポイントを枠で囲んで表示し、過去に読んだポイントの背景色を塗りつぶして表示します。

3000	3400	3800	4200	4600	5000	5400	58
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
17.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
34.0	32.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
32.0	34.0	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
31.0	34.0	33.0	19.0	0.0	0.0	0.0	1
30.0	36.0	36.0	28.0	15.0	0.0	0.0	1
13.0	31.0	31.0	31.0	21.0	15.0	0.0	1
0.0	29.0	31.0	31.0	32.0	23.0	19.0	1!
0.0	0.0	31.0	30.0	32.0	34.0	25.0	2!
0.0	0.0	25.0	27.0	28.5	29.0	30.5	2!
0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	28.0	29.5	2!
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	29.5	2!
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0	2!
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2!
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2!



残像時間: 軌跡表示の残像時間をなし、1秒、3秒、10秒、継続から選択して使用します。

継続を使用した場合、クリアボタンを押すまで軌跡表示は消えません。

カーソル: 現在の読み出し位置を1マスで表示するか4マスで表示するか指定します。

4マスを指定した場合、現在の読み出し位置を赤枠で表示し、補正值の計算で使用したマスは、枠無しの表示をします。



確認しながらセッティングできるためセッティングが適切に行えます。

重 要

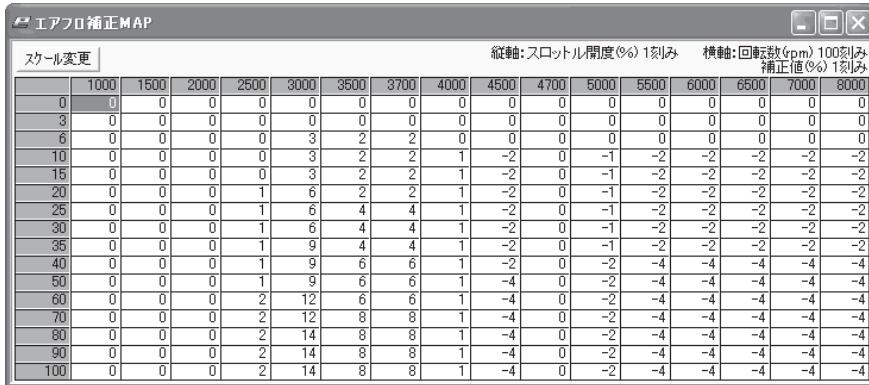
複数のMAPで行ったり、リアルタイム表示と併用すると、PC側の能力によっては画面がちらついたり動きが遅くなってしまう場合があります。そのような場合、1つのMAPでこの機能を使って下さい。

MAPトレースしない場合、ON LINEになっているか確認し、設定データ送信後、設定データ取得を行ってみて下さい。

19. MAPトレース機能

◎カーソルジャンプ機能

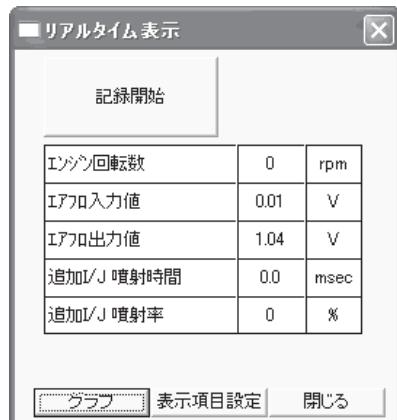
- ・この機能はMAPトレース中にスペースキーを押すと、押した時に読んでいた所にカーソルが移動します。
- ・走行中等に、セッティングで気になる所があった場合、そこでスペースキーを押し、後でどこを読んでいたか確認できます。



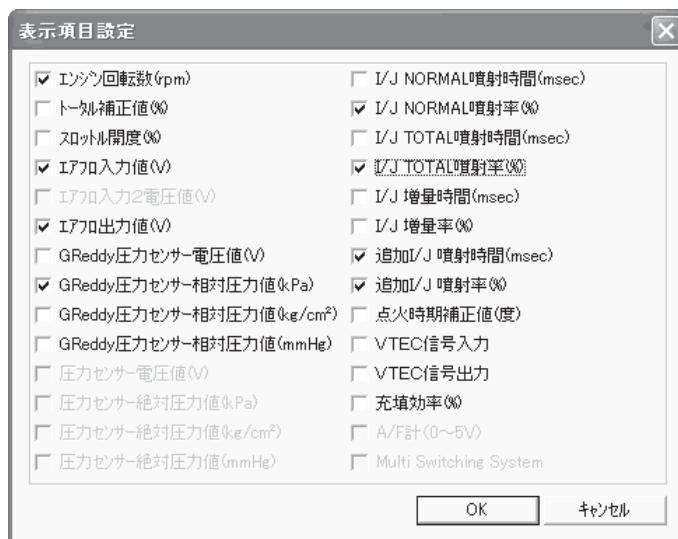
20. リアルタイム表示機能

◎リアルタイム表示

- この機能は現在e-manage本体に入力、出力している信号を数値、及びグラフで表示できる機能です。
- メニューバーの「オプション」→「リアルタイム表示」又は、ツールバーの「リアルタイム表示」ボタンにて、下の設定画面が表示されます。



- 表示項目設定ボタンを押すと、下の画面が表示されます。
 - リアルタイム表示させたい項目を追加、削除したい場合、ここで選択します。
- ※ここで選択された項目は記録し、ファイルとして保存することができます。



20. リアルタイム表示機能

◎グラフ表示

- ・グラフボタンを押すと、下の画面になります。
- ・数値とは別にグラフ表示させて確認することができます。
- ・RESETボタンを押すと表示がリセットされ左端に戻りました表示を始めます。
- ・項目をダブルクリックすると表示範囲の最大値、最小値が設定できます。
- ・色の部分をダブルクリックすると色の設定が出来ます。
- ・グラフを表示する範囲を5秒、10、15、20秒から選択できます。



◎データ記録

記録開始

・記録開始ボタン

記録開始ボタンを押すと、走行中のリアルタイム値をデータとしてメモリに保存していきます。既に、データがメモリ上にある場合は、データは上書きされます。

記録終了

・記録終了ボタン

記録終了ボタンを押すと、データのメモリへの記録を終了します。

記録データ保存

・記録データ保存ボタン

記録したいデータに名前を付けてファイルとして保存できます。

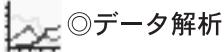


記録、保存したデータはデータ解析機能で確認する事ができます。

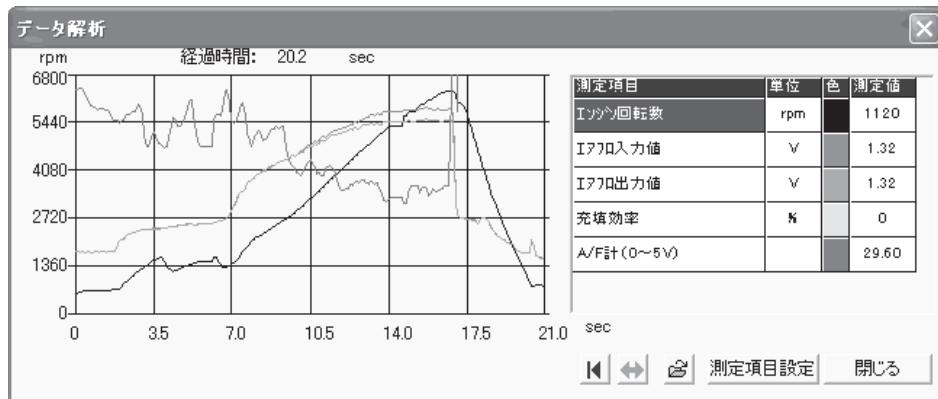
重 要

数値がちらついて見えたり、グラフが滑らかでない場合がありますが、e-manage本体からPCへの通信速度の問題で、実際の制御とは全く関係ありません。

21. データ解析について



- この機能はリアルタイム表示画面で記録し保存したファイルをグラフ表示できる機能です。
- プルダウンメニュー又は、ツールバーのデータ解析を選択すると、下の画面が表示されます。



開くボタンを押して解析したいファイルを選択します。

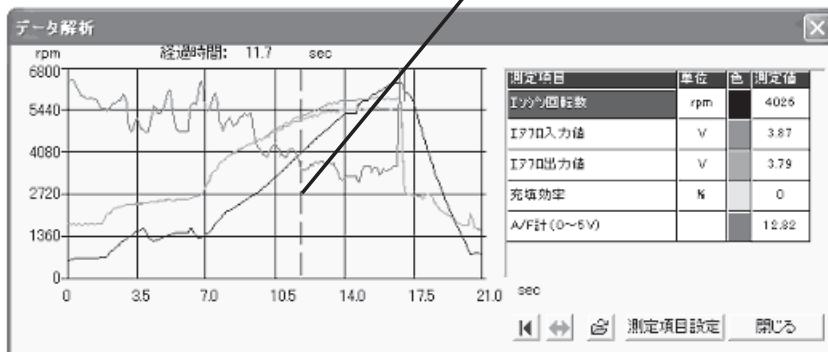
- 「測定項目設定」を押し、測定項目を選択します。
 - デフォルトでは記録した項目にチェックが入っています。
 - 「色」をダブルクリックすると波形の色を設定する事が出来ます。
 - 測定項目をダブルクリックすると表示範囲の最大値、最小値が設定できます。
 - 測定値をクリックすると測定値の最大値、最小値が確認できます。
 - 任意の表示項目名称欄をマウスでクリックすると反転表示されます。反転表示している項目の単位がグラフの左側に表示されます。
 - グラフ上の任意の位置をマウスでクリックすることにより、グラフ上にある縦の点線が移動し、点線の位置の測定値が右側に表示されます。
- ・グラフ上で拡大したい区間をドラッグし、拡大ボタンを押すと反転表示された部分が拡大されて表示されます。
- ・戻すボタンを押すと拡大された部分が拡大される前の状態に戻ります。

21. データ解析について

◎MAPリンク機能

- データ解析画面のグラフ上で左クリックすると、その時MAPのどこを読んでいたか、確認する事ができます。

1 アフリ補正MAP																
スケール変更	縦軸:スロットル開度(%) 1刻み 横軸:回転数(rpm) 100刻み 補正値(%) 1刻み															
	1200	1500	1800	2100	2400	2800	3100	3400	3700	4000	4400	4700	5000	5300	5600	6000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
6	0	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-2	-2	-2	-3	-3	-2
10	0	0	0	0	0	0	-1	-1	-2	-2	-2	-2	-3	-4	-4	-4
15	0	0	0	0	0	-1	-2	-2	-2	-2	-3	-3	-4	-5	-5	-5
20	0	0	0	0	0	-2	-3	-3	-3	-3	-4	-4	-5	-7	-7	-6
25	0	0	0	0	-1	-3	-3	-3	-3	-4	-5	-4	-5	-8	-8	-7
30	0	0	0	0	-1	-4	-5	-5	-5	-5	-6	-5	-6	-9	-9	-8
35	0	0	0	0	-1	-5	-6	-5	-5	-6	-6	-6	-7	-10	-10	-10
40	0	0	0	-1	-2	-6	-7	-6	-6	-6	-7	-6	-8	-12	-12	-11
50	0	0	0	-1	-2	-7	-7	-7	-7	-6	-8	-7	-9	-13	-13	-12
60	0	0	0	-1	-2	-7	-7	-7	-7	-6	-8	-8	-11	-13	-13	-13
70	0	0	0	-1	-2	-7	-7	-7	-7	-6	-8	-10	-12	-13	-13	-14
80	0	0	0	-2	-3	-7	-7	-7	-7	-6	-8	-10	-13	-14	-14	-15
90	0	0	0	-2	-3	-7	-7	-7	-7	-9	-11	-15	-15	-16	-16	-15
100	0	0	0	-2	-3	-7	-7	-7	-7	-9	-11	-15	-15	-16	-16	-15



22. プロテクト設定

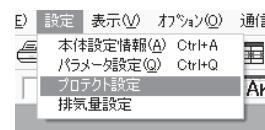
◎プロテクト方法

この機能は本体の設定データにパスワードを設定し、プロテクトをかける事が出来ます。

- ・プロテクト設定を行うと、e-manage本体と通信を行う際、パスワードを入力しないと設定データ等を見ることや、変更する事が出来なくなります。

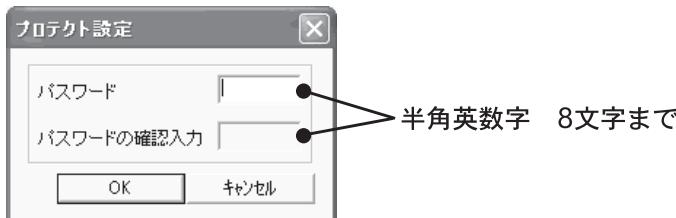
(設定方法)

メニューバーの「設定」→「プロテクト設定」
でパスワードを設定します。



設定方法・・・パスワードとパスワードの確認入力をそれぞれ同じものを2回
入力し、「OK」を押します。

解除方法・・・パスワードを入力し、通信を行い、もう一度プロテクト設定画
面でパスワードを空白のまま「OK」ボタンを押すことでプロテ
クトを解除することができます。

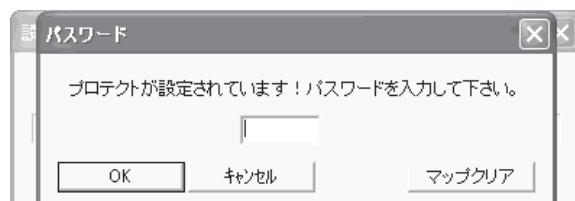


設定データを他人に見られたくない場合に使用します。

◎マップクリア

- ・パスワードを忘れてしまった等の場合、現在の設定データを全て消去し、初期状態に戻すことができます。

マップクリア方法・・パスワード入力画面で「マップクリア」ボタンを押します。



23. 自己診断機能、エラーコード一覧

・チェック機能の説明

この機能は本体に電源が投入された状態で、次ページ以降に示す何らかのエラーが発生した場合にACTIVE L.E.D.がグリーンから、レッド点滅（高速フラッシュ）へ変わります。

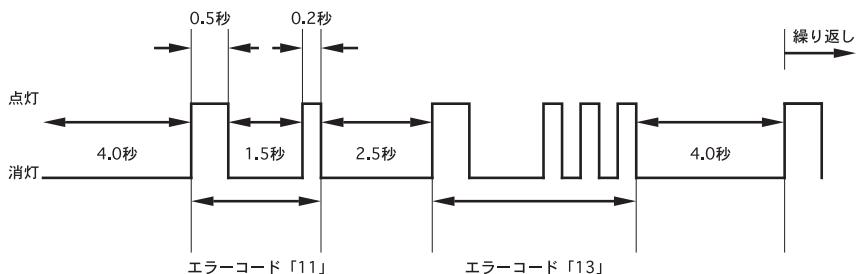
この場合、速やかにエンジンを停止し、再度IG ONのみ（エンジン未始動）の状態でチェック・モードに入ります。

チェック・モードに入ると検出されたエラーコードの全てを連続で下記の点滅状態にて表示します。

チェック・モードからIG OFFし、エラー内容の改善を行い、再度IG ONを行うと通常モードに戻ります。

※エラー内容の改善がされていない場合は、IG ONを行うと何度もエラーコード出力状態は続きます。

◎エラーコードの表示方法 (e-manage本体 ACTIVE L.E.D.)



23. 自己診断機能、エラーコード一覧

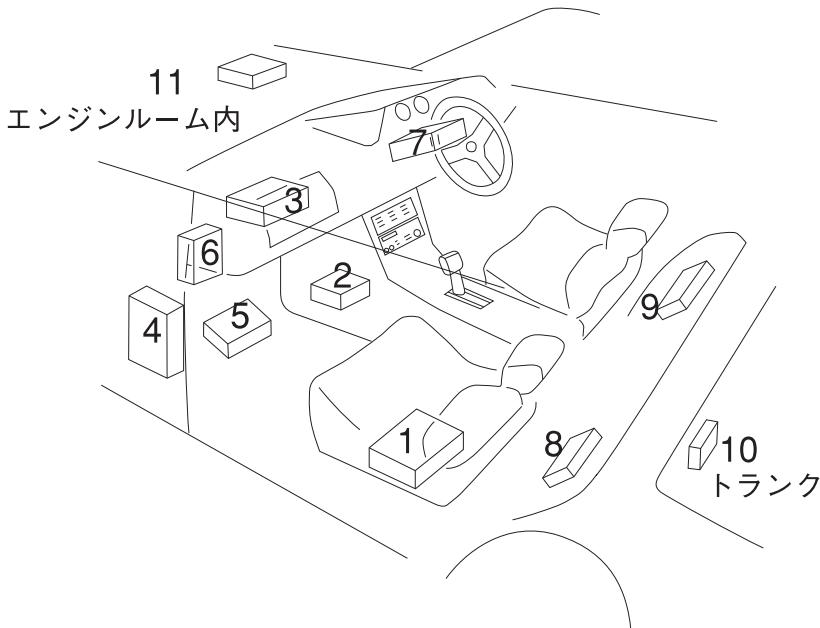
◎エラーコード一覧表

コード番号	診断項目	異常（コード番号）が表示される状態
11	エアフロ信号1 入力エラー	エアフロ信号1入力の配線が間違っている、又は外れています。
12	エアフロ信号2 入力エラー	エアフロ信号2入力の配線が間違っている、又は外れています。 ジャンパー設定（JP3）が間違っています。
13	カルマン渦周波数 エアフロ信号 入力エラー	カルマン渦周波数エアフロ信号が入力されていません。 ジャンパー設定（JP4）が間違っています。
14	VTEC 信号 入力エラー	VTEC電圧入力の配線が間違っています。 ジャンパー設定（JP4）が間違っています。
15	エアフロ電圧 出力エラー	エアフロ電圧出力の配線が間違っています。
16	VTEC 信号 出力エラー	VTEC信号出力の配線が間違っています。 ジャンパー設定（JP3）が間違っています。
20	インジェクター 全パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、 インジェクター信号が入力されていません。
21	インジェクター1 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-1に 信号が入力されていません。
22	インジェクター2 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-2に 信号が入力されていません。
23	インジェクター3 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-3に 信号が入力されていません。
24	インジェクター4 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-4に 信号が入力されていません。
25	インジェクター5 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-5に 信号が入力されていません。
26	インジェクター6 パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-6に 信号が入力されていません。
27	インジェクターA パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-Aに 信号が入力されていません。
28	インジェクターB パルスなし	インジェクター増量MAP使用時、I/J CH-Bに 信号が入力されていません。

23. 自己診断機能、エラーコード一覧

コード番号	診断項目	異常（コード番号）が表示される状態
31	インジェクター1 不正パルス	e-manageのI/J CH-1への配線が間違っています。
32	インジェクター2 不正パルス	e-manageのI/J CH-2への配線が間違っています。
33	インジェクター3 不正パルス	e-manageのI/J CH-3への配線が間違っています。
34	インジェクター4 不正パルス	e-manageのI/J CH-4への配線が間違っています。
35	インジェクター5 不正パルス	e-manageのI/J CH-5への配線が間違っています。
36	インジェクター6 不正パルス	e-manageのI/J CH-6への配線が間違っています。
37	インジェクターA 不正パルス	e-manageのI/J CH-Aへの配線が間違っています。
38	インジェクターB 不正パルス	e-manageのI/J CH-Bへの配線が間違っています。
40	点火信号 入力不順	点火信号補正MAP使用時、点火信号の配線順序が間違っています。
41	点火信号1 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-1 INに信号が入力されていません。
42	点火信号2 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-2 INに信号が入力されていません。
43	点火信号3 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-3 INに信号が入力されていません。
44	点火信号4 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-4 INに信号が入力されていません。
45	点火信号5 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-5 INに信号が入力されていません。
46	点火信号6 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、点火 CH-6 INに信号が入力されていません。
47	JP1 PULL UP エラー	ジャンパー設定（JP1）が間違っています。
48	JP1 PULL DOWN エラー	ジャンパー設定（JP1）が間違っています。
49	点火信号 パルスなし	点火信号補正MAP使用時、どのチャンネルにも点火信号が入力されていない場合
51	点火信号1 不正パルス	e-manageの点火 CH-1への配線が間違っています。
52	点火信号2 不正パルス	e-manageの点火 CH-2への配線が間違っています。
53	点火信号3 不正パルス	e-manageの点火 CH-3への配線が間違っています。
54	点火信号4 不正パルス	e-manageの点火 CH-4への配線が間違っています。
55	点火信号5 不正パルス	e-manageの点火 CH-5への配線が間違っています。
56	点火信号6 不正パルス	e-manageの点火 CH-6への配線が間違っています。
57	JP2+12V エラー	ジャンパー設定（JP2）が間違っています。

24. 車種別ECU位置図



・車種別信号位置図記号

(+B)	←電源線	(t※)	←NO.※点火信号	(#※)	←NO.※インジェクター信号
(E)	←アース線	(I・t)	←回転信号と点火信号	(#※P)	←※側ブライマリー インジェクター信号 (F:フロント、C:センター、R:リア)
(I)	←回転信号線	(t※・※)	←NO.※とNO.※の点火信号	(#※P2)	←※側ブライマリー2 インジェクター信号 (F:フロント、R:リア)
(Th)	←スロットル信号線	(t※L)	←NO.※リーディング側点火信号 (F:フロント、R:リア)	(#※S)	←※側セカンダリー インジェクター信号 (F:フロント、C:センター、R:リア)
(Ar)	←エアフロ・圧力センサー信号線	(t※T)	←NO.※トレーリング側点火信号 (F:フロント、R:リア)		
(VT)	←VTEC信号線				
(VM)	←VTM信号線				
(#E)	←インジェクター アース線				
(O2,1)	←O2センサー1				
(O2,2)	←O2センサー2				

25. 車種別信号位置図

トヨタ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			ECU 設置場所	備考
					1	2	3		
アリスト	JZS161	97.8~04.11	2JZ-GTE	TY_HW-6	6	2	4	T-17	11
	JZS147	91.9~97.7		TY_PR-1	7	4	0	T-15	5
スープラ	JZA80	97.8~99.8	2JZ-GTE	TY_HW-5	6	2	4	T-15	5
		93.5~97.7		TY_PR-1	7	4	0	T-15	5
JZA70	GA70	90.8~93.4	1JZ-GTE	TY_FL-3	5	4	9	T-10	5
		88.9~93.4							
ソアラ	JZZ30	96.8~01.3	1JZ-GTE	TY_PR-1	7	4	0	T-16	5
		91.5~96.7		TY_PR-1	7	4	0	T-13	5
GZ20		88.1~91.4	1G-GTE	TY_PR-1	7	4	0	T-1	3
マークII	JZX110	00.10~04.11	1JZ-GTE	TY_HW-6	6	2	5	T-17	5
	JZX100	96.9~00.10		TY_HW-4	6	2	3	T-16	
	JZX90	94.9~96.8		TY_PR-1	7	4	0	T-19	
		92.10~96.8						T-13	
JZX81		90.8~92.9						T-10	3
MR-S	ZZW30	99.10~	1ZZ-FE	TY_HW-3	4	2	2	T-22	8
MR-2	SW20	93.10~99.7	3S-GTE	TY_PR-2	4	2	1	T-2	10
		89.10~93.9		TY_FL-2	2	4	8		
		93.10~97.12	3S-GE	TY_PR-3	2	4	2	T-11	
		89.10~93.9						T-2	
セリカ	ZZT231	99.9~	2ZZ-FE	TY_HW-1	4	2	0	T-22	11
	ZZT230		1ZZ-FE						5
	ST205	94.2~97.11	3S-GTE	TY_PR-2	2	4	1	T-2	2
	ST202/203		3S-GE	TY_PR-3	2	4	2		
アルテッツァ	SXE10	98.10~05.7	3S-GE	TY_HW-1	4	2	0	T-14	11
	GXE10		1G-FE	TY_PR-3	7	4	2	T-18	
カルディナ	ST246W	02.9~	3S-GTE	TY_PR-2	4	2	1	T-21	4
	ST215W	97.9~02.7						T-22	3
レビン	AE111	95.5~00.7	4A-GE	TY_PR-3	2	4	2	T-2	2
	AE101	91.6~95.4		TY_FL-1	2	4	7	T-8	
								T-2	
	AE92	89.5~91.5	4A-GE (AT)	TY_PR-1	2	4	2	T-7	4
		87.5~89.4						T-3	
	AE86	83.5~87.4							
スターレット	EP91	95.12~98.12	4E-FTE	TY_PR-1	2	4	0	T-9	6
	EP82	89.12~95.11	4E-FTE (M/T)					T-6	2
		92.1~95.11	4E-FTE (A/T)					T-7	
		89.12~91.12						T-6	
エスティマ	MCR30/40	00.1~05.12	1MZ-FE	TY_HW-1	7	2	0	T-20	6
	ACR30/40	01.1~03.4	2AZ-FE		4	2	0	T-23	
アルファード	MNH10/15	02.5~05.3	1MZ-FE	TY_HW-1	7	2	0	T-20	6
	ANH10/15	02.5~05.3	2AZ-FE		4	2	0	T-23	

25. 車種別信号位置図

トヨタ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考				
					1	2	3							
ハリアー	ACU30	00.11~03.1	2AZ-FE	TY_HW-1	4	2	0	T-21	6	※2				
クルーガー	ACU20	00.11~03.7	2AZ-FE	TY_HW-1	4	2	0	T-23	6	※2				
イプサム	ACM21	01.5~03.9	2AZ-FE	TY_HW-1	4	2	0	T-23	6	※2				
ウィッシュ	ZNE10G	03.1~05.8	1ZZ-FE	TY_HW-3	4	2	2	T-21	6	※2				
Vitz	NCP13	00.10~02.7	1NZ-FE	TY_HW-3	4	2	2	T-12	3	※2				
		02.8~05.1						T-21		※2				
	NCP10/15	99.8~02.7	2NZ-FE					T-12	3	※2				
		02.8~05.1						T-21		※2				
	SCP10	99.1~05.1	1SZ-FE	TY_HW-2	4	2	1	T-12	3	※2				
		01.12~02.7						T-21		※2,※3				
bB	NCP31/35	00.2~02.7	1NZ-FE	TY_HW-3	4	2	2	T-12	3	※2				
		02.5~05.11						T-21		※2				
	NCP30	00.2~02.7	2NZ-FE					T-12	3	※2				
		02.5~05.11						T-21		※2				
ist	NCP61/65	02.5~	1NZ-FE	TY_HW-3	4	2	2	T-21	3	※2				
	NCP60	02.5~	2NZ-FE					T-21		※2				

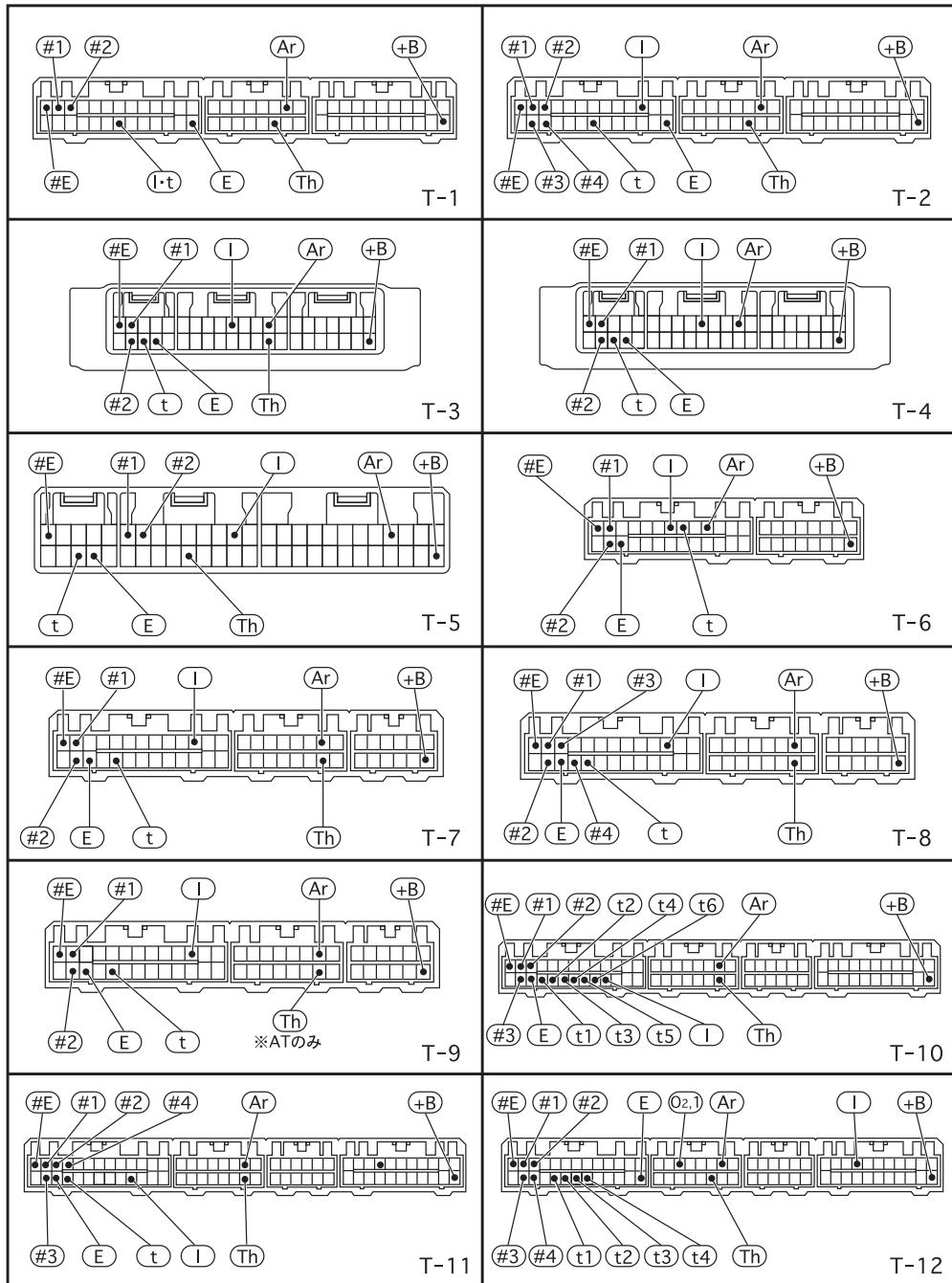
◎備考

※1：ノックセンサー等の補正により、アクセルが全開でもスロットルを閉じてしまったり、点火時期が遅角したりする場合があります。このような場合、ノック信号アダプタ1をご使用ください。

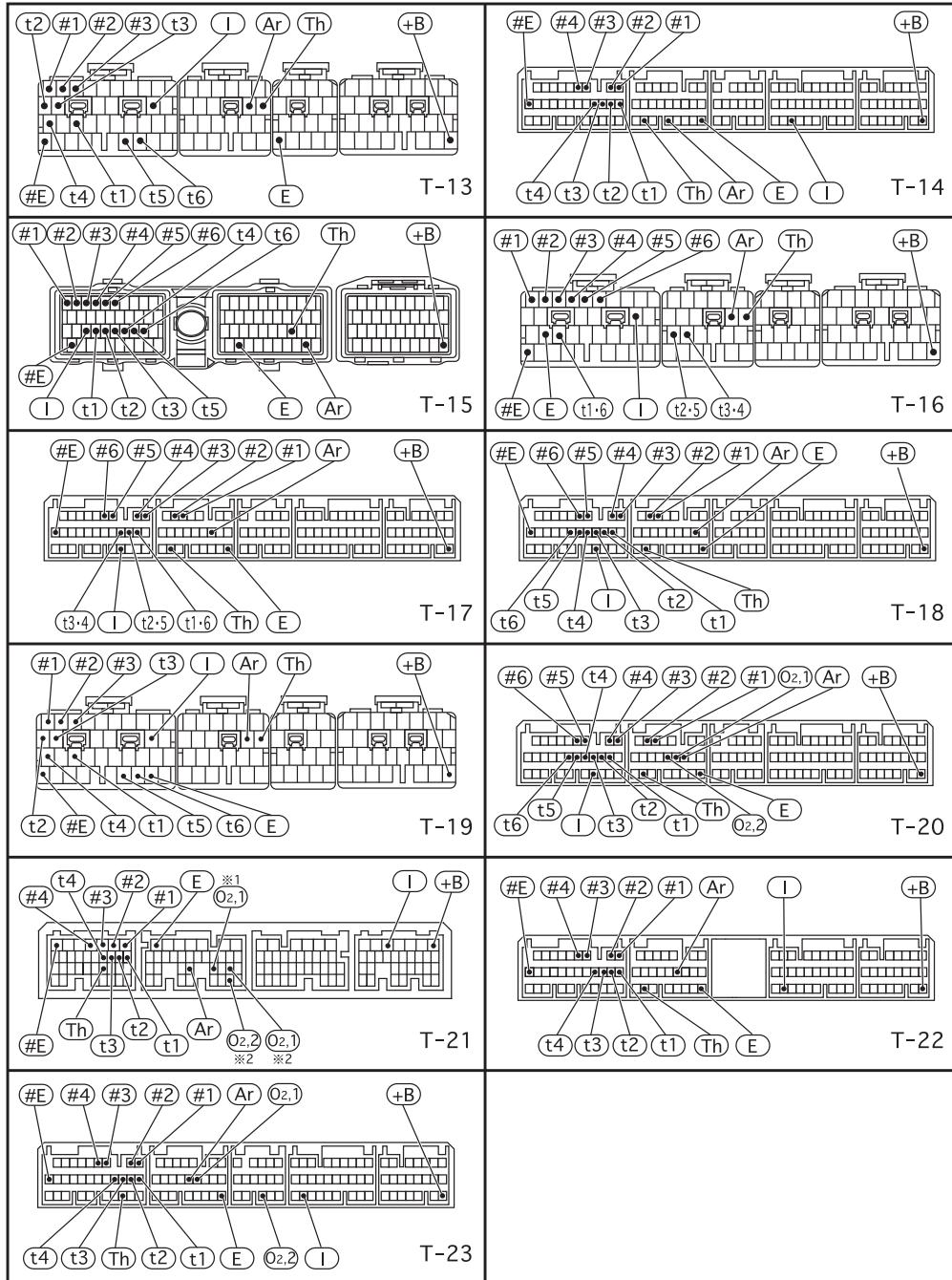
※2：車両の特性上、低中負荷部分が、理論空燃比に補正されてしまう場合、その部分を補正したい場合は、O2センサーアダプタ1をご使用ください。

※3：トヨタ ストップ&ゴーシステム無

25. 車種別信号位置図



25. 車種別信号位置図



※1：エンジン型式 1NZ-FE、2NZ-FE、1ZZ-FEのみ（O2センサー 1箇所）
 ※2：エンジン型式 2AZ-FEのみ（O2センサー 2箇所）

25. 車種別信号位置図

ニッサン

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考	
					1	2	3				
インフィニティQ45	G50	89.11~97.9	VH45DE	NS_HW-1	8	0	0	N-1	4		
フェアレディZ	Z33	02.7~05.8	VQ35DE	NS_HW-12	7	0	B	N-13	6	※1,※4	
	Z32	89.7~02.6	VG30DETT VG30DE	NS_HW-2	7	0	1	N-3	5		
スカイラインクーペ	CPV35	03.1~	VQ35DE	NS_HW-12	7	0	B	N-13	6	※1,※4	
スカイライン	BNR34	99.1~01.5	RB26DETT	NS_HW-6	7	0	5	N-4	4		
	ER34	98.5~01.5	RB25DET (NEO)	NS_HW-5	7	0	4	N-10		※2,※3	
	BCNR33	95.1~98.12	RB26DETT	NS_HW-6	7	0	5	N-4			
	ECR33	95.1~98.4	RB25DET	NS_HW-5	7	0	4	N-6			
		93.8~94.12		NS_HW-5	7	0	2				
	BNR32	89.8~94.12	RB26DETT	NS_HW-6	7	0	5	N-4			
	HCR32	89.5~93.7	RB20DET	NS_HW-3	7	0	2	N-5			
ステージア	WGNC34改	97.11~01.9	RB26DETT	NS_HW-6	7	0	5	N-4	4	※3	
	WG(N)C34	98.8~01.9	RB25DET (NEO)	NS_HW-5	7	0	4	N-10		※2,※3	
ローレル	C35	97.6~99.8	RB25DET (NEO)	NS_HW-5	7	0	4	N-10	4	※2,※3	
	C34	94.9~97.5	RB25DET	NS_HW-3	7	0	2	N-6			
		94.1~97.8									
	C33	91.1~92.12	RB20DET	NS_HW-4	7	0	3	N-5			
		88.12~90.12									
セフィーロ	A31	89.7~02.6	RB20DET	NS_HW-3	7	0	2	N-5	4		
		89.7~02.6		NS_HW-4	7	0	3				
シルビア	S15	99.1~02.1	SR20DET	NS_HW-7	4	0	6	N-8	4	※4	
			SR20DE	NS_HW-8	2	0	7	N-7			
	S14	96.6~98.12	SR20DET	NS_HW-7	4	0	6	N-8			
		93.10~96.5									
	PS13	93.10~98.12	SR20DE	NS_HW-8	2	0	7	N-7			
		91.1~93.9	SR20DET		4	0	7	N-9			
			SR20DE		2	0	7	N-7			
	S13	88.5~90.12	CA18DET	NS_HW-10	4	0	9	N-11			
180SX	RPS13	96.8~99.1	SR20DET	NS_HW-8	4	0	7	N-8	4		
	RS13	89.3~90.12	CA18DET	NS_HW-10	4	0	9	N-11			
バルサー	RNN14	90.8~94.12	SR20DET	NS_HW-7	2	0	8	N-7	2		
キューブ	Z11	02.10~	CR14DE	NS_PR-1	4	4	3	N-12	11	※1,※4	
	Z10	98.2~01.10	CG13DE	NS_HW-13	2	0	C	N-7	2		
マーチ	K12	02.3~	CR10DE	NS_PR-1	4	4	3	N-12	11 (MTのみ) ※4		
			CR12DE								
			CR14DE								
	K11	92.1~02.1	CG10DE	NS_HW-13	2	0	C	N-7	2		
			CG13DE								

◎備考

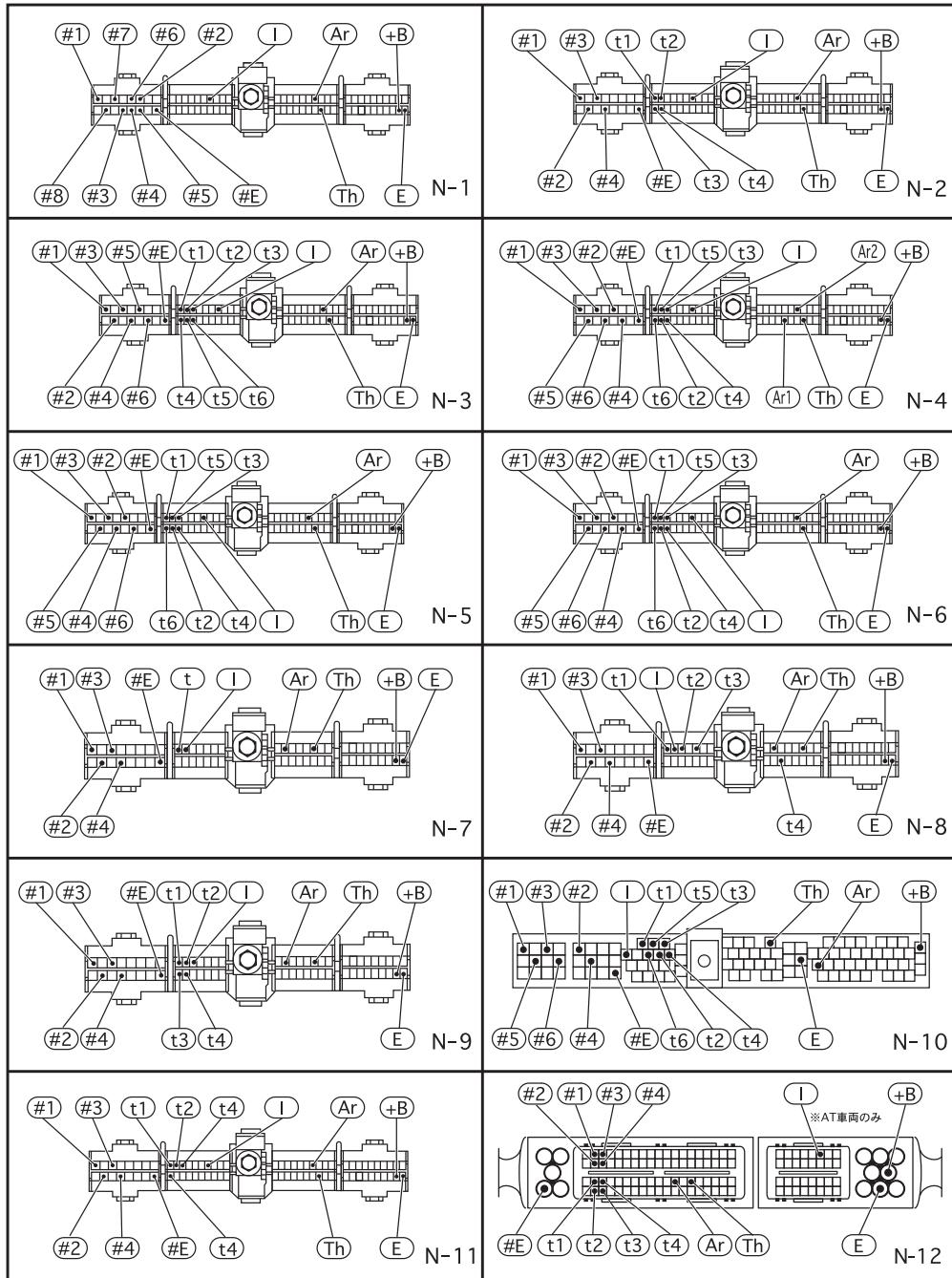
※1：回転信号取り出しアダプタが必要

※2：点火信号アダプタが必要

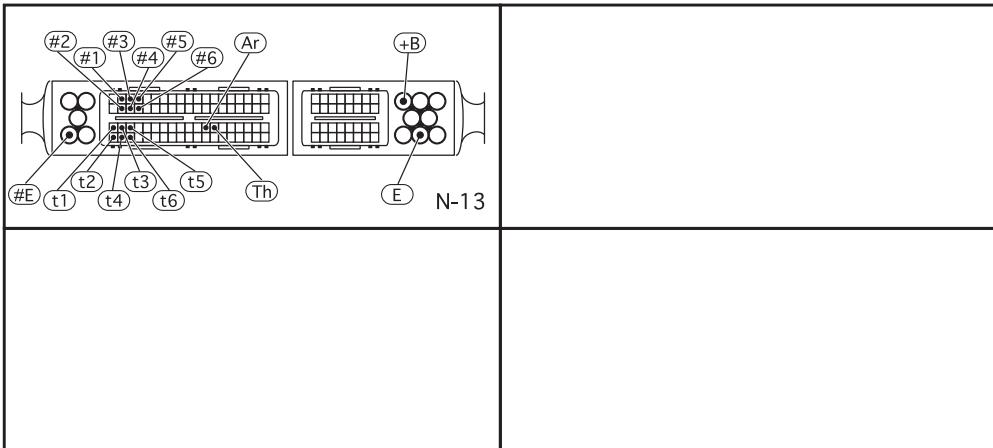
※3：点火ハーネスに加工が必要

※4：点火ハーネスに加工または、車種別ハーネスが必要

25. 車種別信号位置図



25. 車種別信号位置図

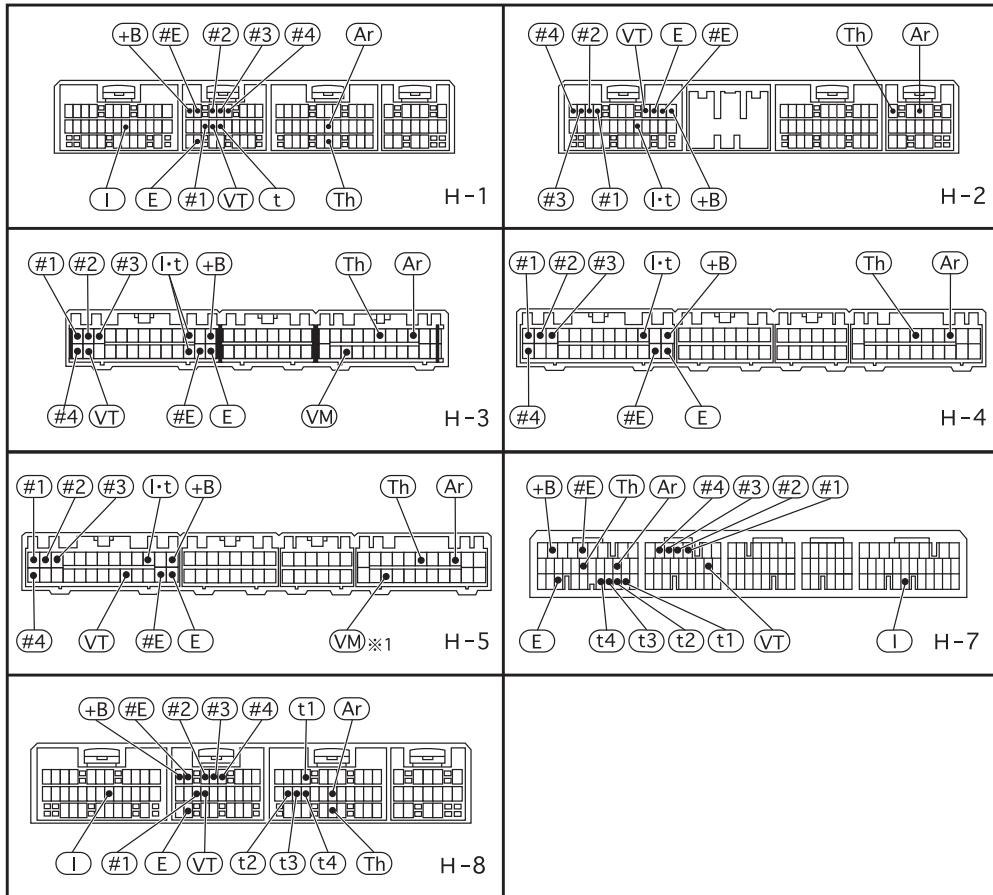


25. 車種別信号位置図

ホンダ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考				
					1	2	3							
シビック	EP3	01.10~	K20A	HN_PR-3	4	8	C	H-7	3					
	EK9	98.9~00.9	B16B (タイプR)	HN_PR-1	2	8	A	H-1	4					
		97.6~98.8						H-2						
	EK4	98.9~00.9	B16A					H-1						
		95.9~98.8						H-2						
	EG6	83.5~87.4						H-3						
	EG9	95.12~98.12												
	EJ1	89.12~95.11												
インテグラ	DC5	01.7~	K20A	HN_PR-4	4	8	D	H-7	3					
	DC2/DB8	95.9~01.6	B18C (タイプR)	HN_PR-1	2	8	A	H-2	4					
		93.5~95.8	B18C (M/T)					H-3						
		93.5~01.6	B18C (A/T)					H-5						
プレリュード	BB6/BB8	96.12~98.9	H22A	HN_PR-1	2	8	A	H-2	5					
	BB4	91.9~96.10						H-3						
アコード/トルネオ	CL1	00.6~01.5	H22A					H-1	3					
	CF4	97.9~00.5	F20B						5					
	CD5	93.9~97.8	F22B					H-3						
S2000	AP1	99.4~	F20C	HN_PR-3	4	8	C	H-8	4					

25. 車種別信号位置図



※1 VTM信号のある車両のみ配線

25. 車種別信号位置図

ミツビシ

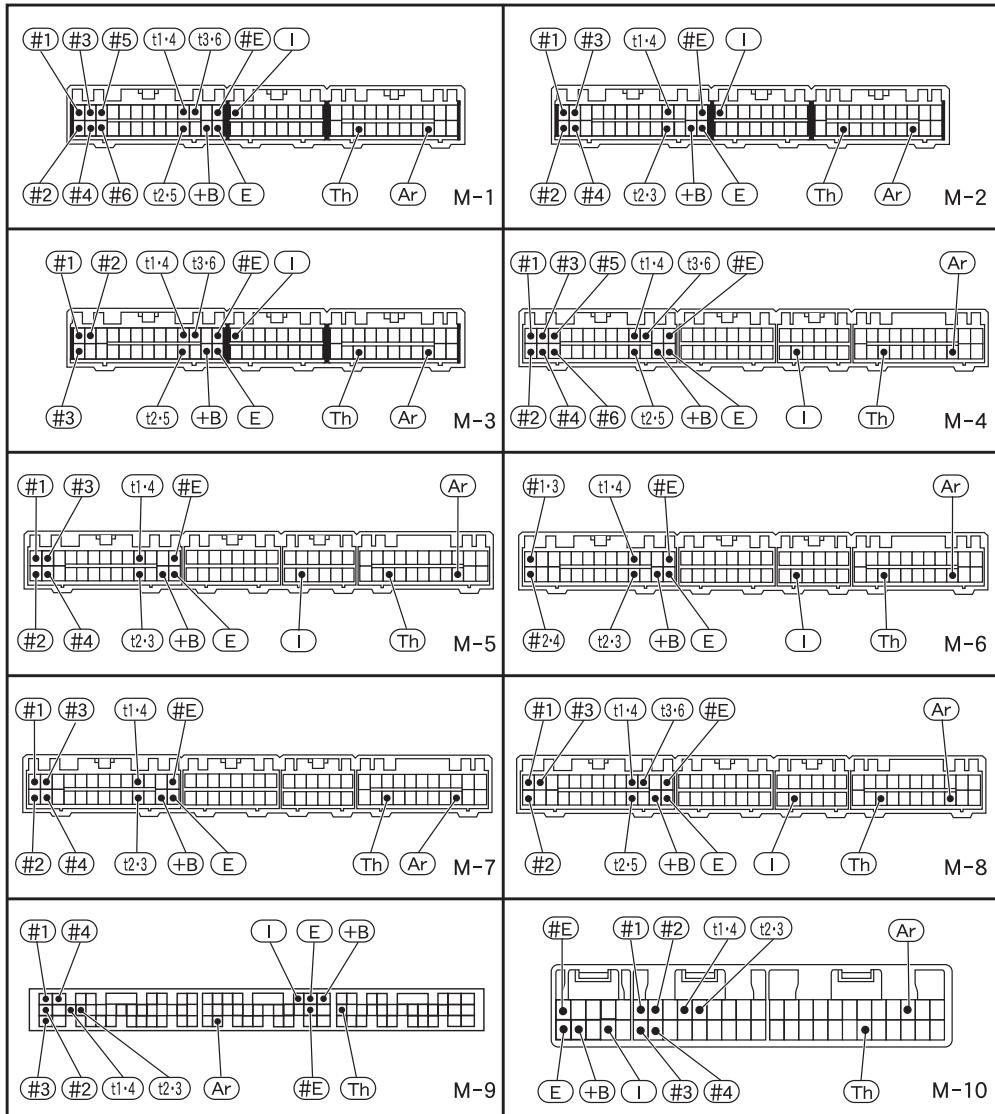
車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考	
					1	2	3				
GTO	Z16A	90.9~00.8	6G72	MT_KR-2	6	8	4	M-1	2		
レグナム	EC5W	96.8~02.7	6A13	MT_KR-2	6	8	4	M-4	2		
ギャラン	EC5A	96.8~00.5	6A13	MT_KR-2	6	8	4	M-4	2		
	E39A	87.10~92.4	4G63	MT_KR-1	3	8	3	M-10	4		
FTO	DE3A	97.2~97.11	6A12	MT_KR-2	6	8	4	M-4			
		96.2~97.1						M-8			
		94.10~96.1						M-3			
	DE2A	96.2~97.2	4G93	MT_KR-1	3	8	3	M-5			
		94.10~96.1						M-6			
ランサー	CT9W (MT)	05.9~	4G63	MT_KR-1	3	8	3	M-9	4	※1	
	CT9A	05.3~						M-5		※2	
	CT9A	03.1~05.2									
	CT9A (MT)	01.2~02.1									
	CP9A	98.1~01.1						M-2			
	CN9A	96.8~97.12									
	CE9A	93.12~96.7									
	CD9A	92.10~93.11									
エクリプス	D32A	95.12~97.3	4G63	MT_KR-1	3	8	3	M-5	4		

◎備考

※1：点火信号アダプタ2が必要

※2：GT-Aタイプは点火信号アダプタ2が必要

25. 車種別信号位置図



25. 車種別信号位置図

マツダ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考
					1	2	3			
ユーノスコスモ	JCESE	90.3~95.8	20B-REW	MZ_FL-5	C	A	D	MA-1	5	
	JC3SE	90.3~95.8	13B-REW	MZ_FL-3	A	A	B	MA-2		
RX-8	SE3P	03.4~06.8	13B-MSP (MT)	MZ_HW-3	4	A	2	MA-11	11	※1,※2 ※3
			13B-MSP (AT)					MA-10		
RX-7	FD3S	95.12~02.3	13B-REW	MZ_PR-1	A	A	6	MA-9	4	
		91.12~95.11						MA-3		
	FC3S	89.3~91.11	13B	MZ_FL-2	B	A	A	MA-6	5	
		85.9~89.2		MZ_FL-1				MA-8		
ロードスター	NCEC	05.8~	LF-VE	NS_HW-10	4	0	9	MA-14	11	※2
	NB8C	98.1~00.6	BP-ZE	MZ_HW-1	3	A	0	MA-5	8	※4
			B6-ZE							
	NA8C	95.8~97.11	BP-ZE	MZ_HW-3	3	A	2	MA-13	5	
		93.8~95.7						MA-12		
	NA6CE	89.9~93.7	B6-ZE	MZ_FL-4	3	A	C	MA-7		
ファミリアSワゴン	BJFW	00.11~02.12	FS	MZ_HW-2	3	A	1	MA-4		※4

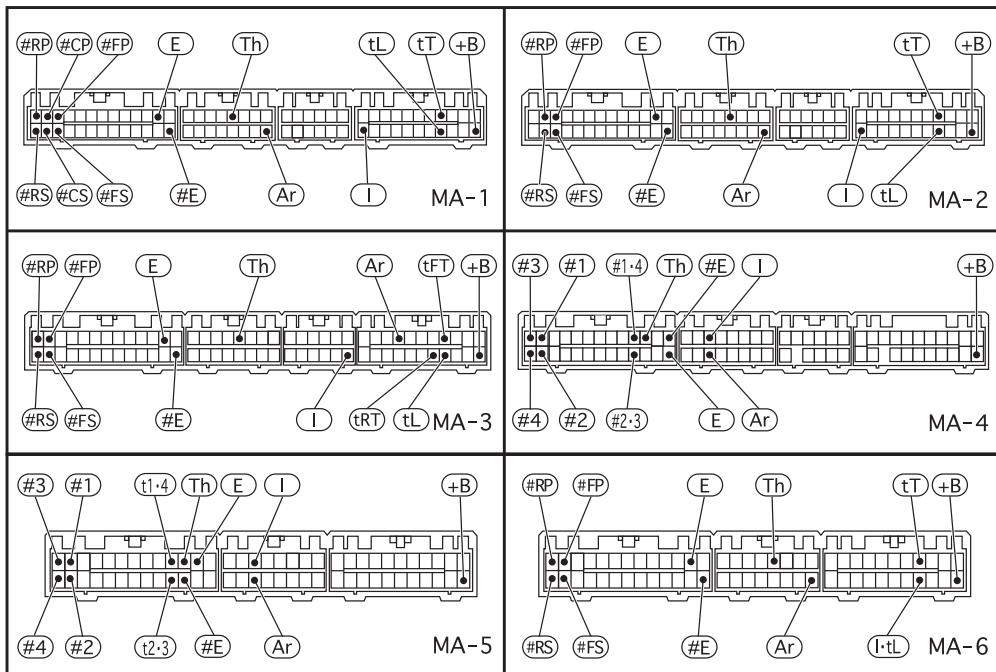
◎備考

*1：点火信号アダプタ2が必要

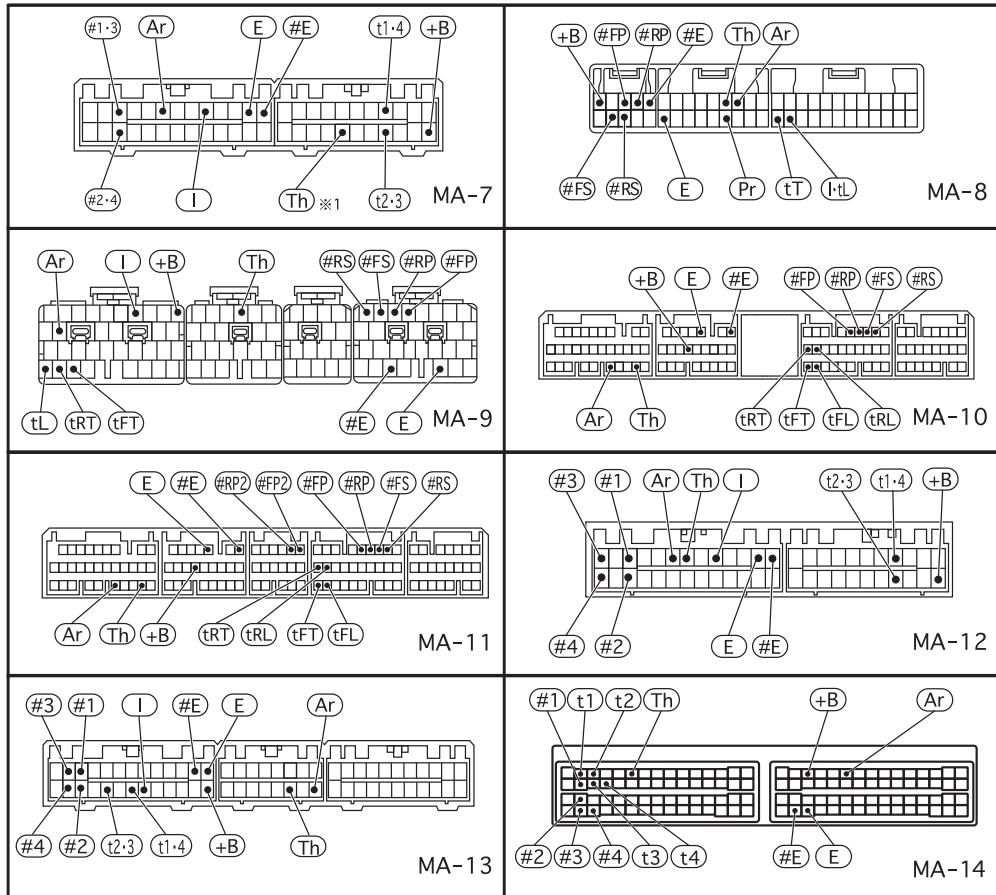
※2：回転信号取り出しアダプタ3が必要

※3：点火ハーネスに

※4：付属のエアフロアダプタが必要



25. 車種別信号位置図



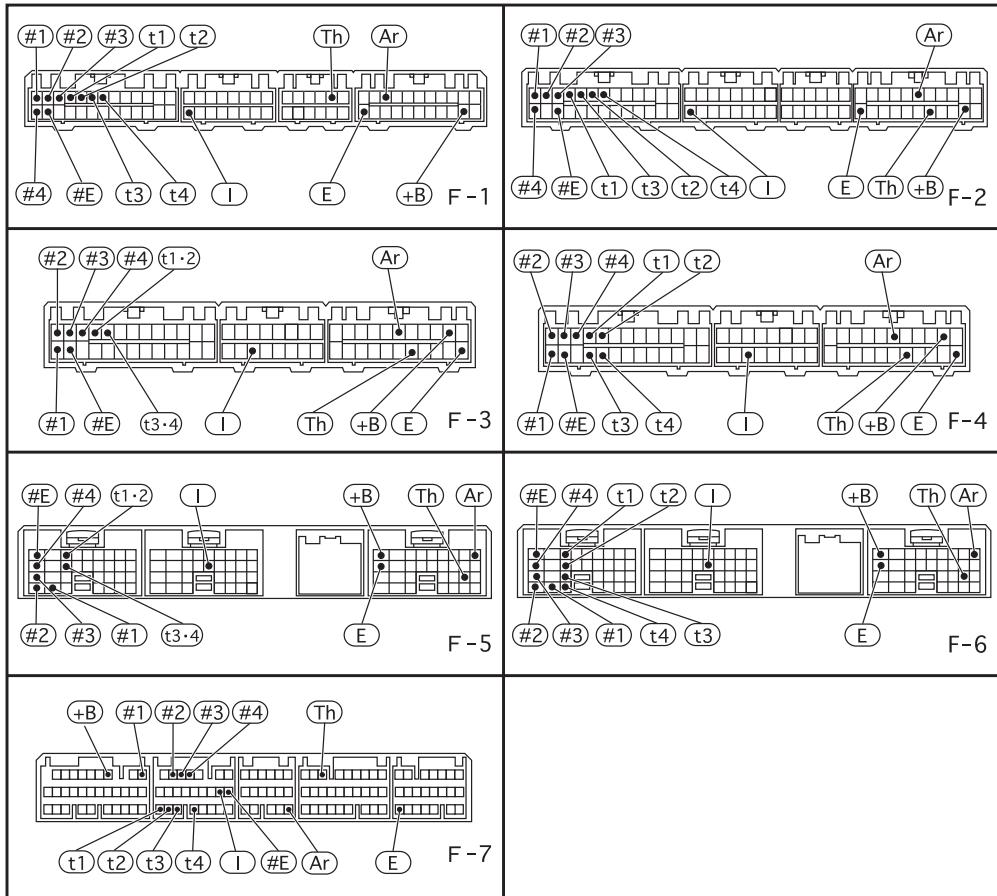
※1 ATのみ

25. 車種別信号位置図

スバル

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU 設置場所	備考
					1	2	3			
レガシィ	BH5/BE5	01.5~03.4	EJ20	SB_HW-4	4	6	3	F-7	5	
		98.6~01.4						F-6		
	BD5/BG5	96.6~98.5	EJ20 (MT)	SB_HW-3	4	6	2	F-4	5	
		93.10~96.5		SB_HW-1	4	6	0	F-2	5	
	BC5/BF5	89.2~93.9			SB_HW-2	4	6	1	F-1	3
インプレッサ	GDA/GDB	00.10~	EJ207	SB_HW-4	4	6	3	F-7	5	
	GC8/GF8	98.9~00.8	EJ20	SB_HW-4	3	6	3	F-5		
		96.9~99.8		SB_HW-3	3	6	2	F-3		
		92.11~96.8		SB_HW-2	4	6	1	F-1		
	SF5	97.2~98.8	EJ20	SB_HW-4	3	6	3	F-3	5	
		98.9~02.1						F-5		

25. 車種別信号位置図



25. 車種別信号位置図

ダイハツ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU設置場所	備考
					1	2	3			
エッセ	L235S	05.12~11.9	KF-VE	SD_PR-1	1	C	0	D-10	6	
ムーブ	L902S	98.10~01.9	JB-DET	SD_PR-2	3	C	1	D-2	6	
		01.10~02.10			4	C	1	D-5		
	L152S	02.11~04.11						D-8		
		04.12~06.9						D-9		
	L175S	06.10~10.12	KF-DET	SD_PR-1	1	C	0	D-10		
ミラジーノ	L700S	99.3~00.9	EF-DET	SD_PR-1	1	C	0	D-6	6	
		00.10~01.5						D-7		
ミラAVY	L250S/260S	02.12~05.8	EF-DET (A/T)	SD_PR-3	1	C	2	D-3	6	
			EF-DET (M/T)					D-4		
コペン	L880K	02.6~	JB-DET	SD_PR-2	4	C	1	D-5	6	※1
ソニカ	L405S	06.6~09.4	KF-DET	SD_PR-1	1	C	0	D-10	6	

◎備考

※1：点火信号アダプタ2が必要

スズキ

車種	型式	年式	エンジン型式	センサー種別	スイッチの設定			CP番号	ECU設置場所	備考
					1	2	3			
アルトワーカス ※VVTは除く	HA21S	94.11~98.9	K6A (M/T)	SD_PR-1	0	C	0	S-2	6	
			K6A (A/T)					S-1		
	HA22S	98.10~99.10	K6A		1	C	0	S-3	11	※1
エブリィ	DA64V/W	05.8~10.4	K6A (NA)	SD_PR-1	1	C	0	S-5	11	※1,※2
			K6A(ターボ)					S-6		
			K6A					S-9		
Kei ※VVTは除く	HN21S	98.10~01.3	K6A	SD_PR-1	1	C	0	S-3	11	※1
			K6A (M/T)					S-3		
	HN22S	01.4~03.9	K6A (A/T)	SD_PR-1	1	C	0	S-4		
ラパンSS	HE21S	03.9~08.10	K6A	SD_PR-1	1	C	0	S-4	11	※1
ジムニー	JB23W	98.10~04.9	K6A	SD_PR-1	1	C	0	S-3	11	※1
		04.10~08.5	K6A (M/T)					S-4		
		K6A (A/T)	SD_PR-1					S-9		
		08.6~	K6A							
カブチーノ	EA21R	95.5~98.6	K6A	SD_PR-1	0	C	0	S-1	2	
ワゴンR スティングレー	MH22S	07.2~08.8	K6A (Mターボ)	SD_PR-1	1	C	0	S-8	11	※1
スイフト	ZC31S	05.9~10.9	M16A	TY_HW-2	3	2	1	S-7	11	

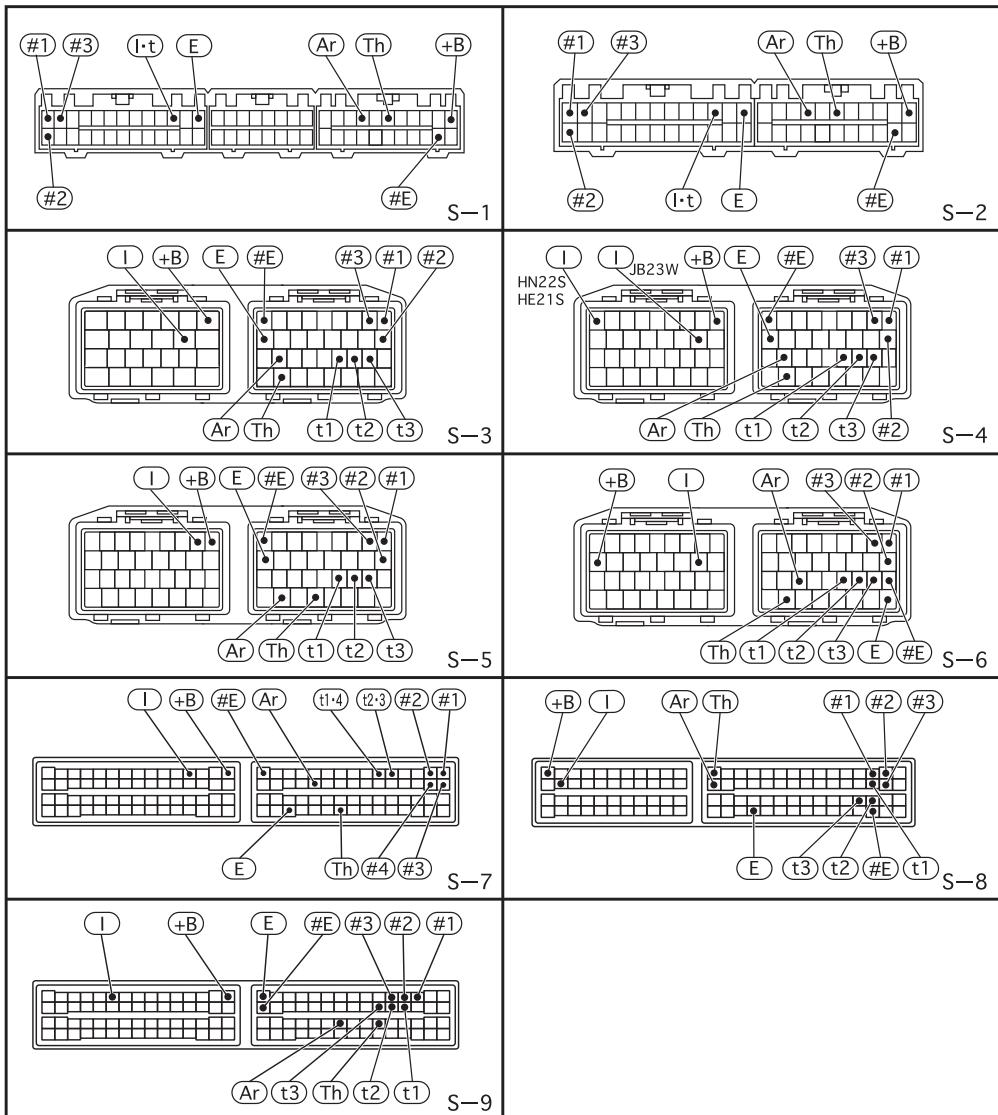
◎備考

※1：点火信号アダプタ2が必要

※2：運転席シート下

25. 車種別信号位置図

25. 車種別信号位置図



26. トラブルシューティング

以下の表を参考に、もう一度確認して下さい。

症 状	考えられる原因	対処方法
1. ACTIVE L.E.Dが点灯しない。	・取り付けハーネスのコネクターが確実に接続されていない。	・コネクターの差し込みを確実に行う。
	・電源、アース線の取り出し位置を間違えている。 又は接触不良がある。	・配線と配線場所を確認して下さい。 ・配線をハンダ付けして、絶縁テープを巻く等、確実に接続して下さい。
2. エンジンが始動できない。	・ロータリースイッチ設定を間違えている。 ・エアフロ信号入力、エアフロ信号出力を間違えて配線している。又は接触不良。	・76ページ以降の車種別信号位置図を参照して、配線位置図、ロータリースイッチを確認して下さい。
3. SET RPMでACTIVE L.E.Dがオレンジにならない。	・回転信号線以外に接続されている。 ・ロータリースイッチ設定を間違えている。	・76ページ以降の車種別信号位置図を参照して、配線位置図、ロータリースイッチを確認して下さい。
4. ACTIVE L.E.Dがレッド高速点滅する。	・配線、ジャンパー設定に間違いがある。	・72~74ページを参照し、エラーコードを確認して下さい。
5. VTECが切り替わらない。	・ロータリースイッチ設定を間違えている。 ・配線の位置を間違えている。又は接触不良。	・76ページ以降の車種別信号位置図を参照して、配線位置図、ロータリースイッチを確認して下さい。
	・ジャンパー設定を間違えている。	・16,17ページのジャンパー設定を参照して、ジャンパーの設定を確認して下さい。

26. トラブルシューティング

症 状	考えられる原因	対処方法
6. ONLINEにならない。	・USBドライバーが正しくインストールされていない。	・34~40ページを参照し、インストールをやり直してみて下さい。
7. 通信ができない。	・USBポートが接触不良を起こしている。	・USBを一度挿し直し、差し込んだ状態で本体の電源を入れて通信させてみて下さい。
8. エアフロ補正 MAPの縦軸が表示されない。	・スロットルの設定を行っていない。	・49ページを参照し、パラメータ設定のスロットル設定を行って下さい。
9. エアフロ交換の設定が反映されない。	・本体側のロータリースイッチが間違っている。	・ロータリースイッチはエアフロ交換の有無に関係なく車両に合わせて設定して下さい。
	・設定を送信後、キーをOFFにしていない。	・エアフロ交換の設定は、送信後、一度キーをOFFにする事で反映されます。
10.点火ハーネスを接続するとエンジンが始動できない。	・ジャンパー設定に間違いがある。	・16,17ページを参照し、正しいジャンパー設定を行って下さい。
11.設定値を入力しても反映されない。	・リアルタイム通信になっていない。	・63ページを参照し、リアルタイム通信を行って下さい。
12.エンジンストール防止設定を使用すると始動できない。	・各回転数でのクランプ値が0になっている。	・53ページを参照し、各回転数にクランプ値を設定して下さい。
12.INTERACTION L.E.Dが点滅する。	・異常ではありません。	・回転数を認識している時に点滅します。 ・通信中に細かく点滅します。

27. オプションパーツについて

e-manage用オプションパート

- | | |
|----------------------|------------------|
| ◎ハーネスキット (I/J) | ◎NVCSアダプタ |
| ◎ハーネスキット (点火) | ◎MSS認識アダプタ |
| ◎GReddy圧力センサー | ◎O2センサーアダプタ1 |
| ◎圧力系センサー ハーネス (2.5m) | ◎回転信号取り出しアダプタ1~3 |
| ◎A/F計入力ハーネス | ◎点火信号アダプタ1、2 |

※各オプションパーツ詳細につきましては、

弊社ホームページwww.trust-power.com、または弊社カタログをご参照下さい。

28. アフターサービスについて

- ・本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- ・付属されている保証書は、必要事項をご記入の上、大切に保管して下さい。
- ・e-manage本体の製造番号は、当社の厳密な検査に合格した物である事を証明します。万一、ご購入年月日より1年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書と合わせて製品をご提示下されば、無償修理を致します。
- ・保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。

株式会社トラスト 本社

〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3115番地5

T E L.0479 (77) 3000



株式会社トラスト 〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155-5 TEL.0479 (77) 3000

第1版 平成23年12月印刷

TRUST CO.,LTD

MADE IN JAPAN